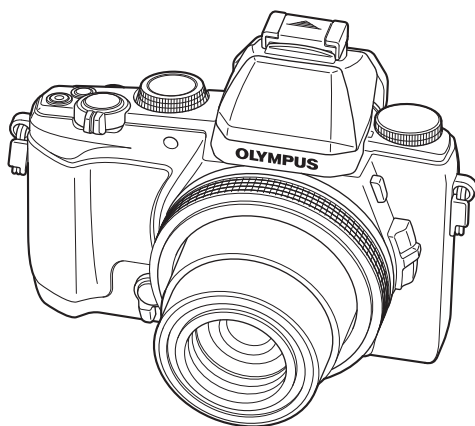


OLYMPUS®

デジタルカメラ

STYLUS 1s

取扱説明書



- オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。特に「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになった後も、必ず保管してください。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- カメラのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

やりたいこと別 かんたん目次

撮影について		🔍
カメラまかせで撮りたい	▶ iオートモード(IAUTO)	28
特殊な効果を使って簡単に撮りたい	▶ アートフィルター (ART)	24
撮影する画像の縦横比を変えたい	▶ アスペクト比	39、52
シーンに合わせて簡単に撮りたい	▶ シーンモード(SCN)	24
簡単に一眼らしい写真を撮りたい	▶ ライブガイド	28
白いものを白く/黒いものを黒く撮りたい	▶ 露出補正	31
背景をぼかして撮影したい	▶ ライブガイド	28
	▶ A (絞り優先)	22
被写体の動きを止めて撮りたい/ 被写体の動きを表現したい	▶ ライブガイド	28
	▶ S (シャッター速度優先)	22
正しい色合いで撮影したい	▶ ホワイトバランス	37
	▶ ワンタッチWB	38
撮るものに合った仕上がりにしたい/ モノクロ撮影したい	▶ ピクチャーモード	36、50
	▶ アートフィルター (ART)	24
ピントを合わせたい/ 狙った一点にピントを合わせたい	▶ タッチパネル	46
▶ AFターゲット	32	
狙った被写体にピントが合わない	▶ フォーカスロック	42
ピントを合わせてから構図を変えたい	▶ フォーカスロック	42
電子音が鳴らないようにしたい	▶ 電子音	73
フラッシュを禁止したい/ フラッシュを使わないで撮影したい	▶ フラッシュ撮影	30
	▶ ISO感度	43
	▶ 手ぶれ補正	36
手ぶれを防ぎたい	▶ 手ぶれ補正	36
	▶ セルフタイマー	31
逆光時に被写体が暗くならないようにしたい	▶ フラッシュ撮影	30
	▶ 階調(ピクチャーモード)	51
花火を撮影したい	▶ シーンモード(SCN)	24
できるだけノイズ(ざらつき)を抑えて撮りたい	▶ 長秒時ノイズ低減	75
白とび/黒つぶれを防ぎたい	▶ 階調(ピクチャーモード)	51
	▶ 露出補正	31

モニターを見やすくしたい	▶ モニタ調整	63
モニターの色味を調節したい	▶ LVブースト	74
構図を意識して撮影したい	▶ 表示罫線選択	74
撮った写真をすぐに拡大してプリントを確認したい	▶ Auto▶ (撮影確認)	63
自分も写真に写りたい	▶ セルフタイマー	31
連続して写真を撮りたい	▶ 連写	32
電池を長持ちさせて撮りたい	▶ スリープ時間	74
撮影枚数を増やしたい	▶ 画質モード	39.52.103

再生/編集について



スマートフォンを使って楽しみたい	▶ スマートフォン接続	64
テレビに映して楽しみたい	▶ テレビ再生	82
BGMつきスライドショーを楽しみたい	▶ スライドショー	58
暗く影になった部分を明るくしたい	▶ 階調オート(JPEG編集)	60
赤目を修正したい	▶ 赤目補正(JPEG編集)	60
簡単に印刷したい	▶ ダイレクトプリント	84
プリントサービス店に依頼したい	▶ プリント予約	86

設定について



最初の設定に戻したい	▶ リセット	49
設定した内容を保存したい	▶ カスタムモード登録	49
メニューの表示言語を切り換えたい	▶ (言語切り換え)	63

もくじ

■ 同梱品を確認する 7

■ 各部の名称 8

カメラの準備 10

■ 電池を充電する 10

■ 電池とカードを入れる/取り出す 11

■ 電源を入れ、初期設定をする 12

かんたんに使う 14

■ 静止画を撮る 14

■ 静止画を見る/消す 15

 静止画を見る 15

 静止画を消す 16

 画像のプロテクト(保護) 16

 複数の画像を選択して消す/
 プロテクトする 16

 画像に転送予約をつける
 ([シェア予約]) 16

■ ムービーを撮る 17

■ ムービーを見る 17

■ 撮影時の画面表示 18

■ 再生時の画面表示 19

基本機能を使って撮影する 20

■ 撮影モードを使う 20

 撮影モードの選び方 20

P プログラム撮影 21

A 絞り優先撮影 22

S シャッター優先撮影 22

M マニュアル撮影 23

ART アートフィルター 24

SCN シーンモード 24

 ■ フォトストーリー 27

C1 / C2 カスタムモード 28

iAUTO iオート 28

各種機能を使って撮影する 30

■ 撮影機能を使う
(ダイレクトボタン操作で設定) 30

 フラッシュ撮影 30

 露出補正 31

 セルフタイマー 31

 単写/連写 32

 ブラケット撮影(BKT) 32

 AFターゲット選択 32

 マニュアルフォーカス(MF) 34

■ 撮影機能を使う(ライブコントロール
で設定する) 35

 手ぶれ補正 36

 ピクチャーモード 36

 ホワイトバランス 37

 アスペクト比設定 39

 画質モード 39

 フラッシュ発光量補正 41

 測光 41

 AF方式 42

 ISO感度 43

 ☉顔優先 43

 NDフィルター設定 44

■ モニターに被写体を表示して
撮影する 45

■ タッチパネルを使って撮影する 46

■ ハイライト&シャドウ
コントロール 47

■ 撮影機能の設定を行う 48

 カードセットアップ
 (カード初期化) 49


 リセット(カメラを初期値に
 セットする) 49

カスタムモード登録
(カスタムモードを設定する) 49

ピクチャーモード
(画像の仕上がりを設定する) 50

画質モード(画質を選択する) 52

アスペクト比設定
(アスペクト比を設定する) 52


/心
(カスタムセルフを設定する) 52

手ぶれ補正
(手ぶれを抑えて撮影する) 52

ブラケット撮影(条件を少しずつ
変化させて撮影する) 53

RCモード(ワイヤレス
RCフラッシュ撮影) 54

先幕/後幕設定(フラッシュ発光の
タイミングを設定する) 54

 (コンバージョンレンズを使って
撮る) 55

インターバル設定(インターバル撮影
の設定をする) 55

再生機能を使って画像を見る 56

再生機能を使う 56

♪再生 56

ムービープレイ
(ムービーコマを操作する) 57

録音(音声を録音する) 57

スライドショーを再生する 58

画像を回転して再生する 58

再生メニューの機能を使う 59

回転再生
(画像を回転して再生する) 60

編集(画像を編集する) 60

全プロテクト解除(プロテクトされた
画像を一度に解除する) 61


スマートフォン接続(スマートフォン
接続機能を使う) 61

カメラの設定を行う 62

セットアップメニューの設定 62

日時設定 63

ワールドタイム 63

 (言語切り換え) 63

モニタ調整 63

撮影確認 63

バージョン 63

Wi-Fi設定 63

スマートフォンと接続する 64

スマートフォンに接続する 65

スマートフォンに画像を転送する ... 65

スマートフォンからリモート撮影
する 66

画像に位置情報をつける 66

無線LAN接続のための設定をする
(Wi-Fi設定) 67

便利に使う 68

スーパーコンパネを使う 68

機能設定パネルを切り換える 69

カスタマイズして便利に使う 70

カスタムメニュー 70

 AF/MF 72

 ボタン/ダイヤル/レバー 72

 接続/音 73

 表示 74

 露出/測光/ISO 75

 フラッシュ 75

 画質/色/AWB 76

 記録 77

 動画 77

 その他 78

撮影時の情報表示を切り換える 80

他の機器と接続して使う 82

- カメラの画像をテレビで見る..... 82
 - テレビのリモコンを使う..... 83
- 画像をプリントする..... 84
 - ダイレクトプリント
(PictBridge)..... 84
 - プリント予約(DPOF)..... 86
- カメラをパソコンに接続する..... 88
- ソフトウェアのインストール..... 88
- OLYMPUS Viewer 3を使用せずに
パソコンに画像を取り込んで
保存する..... 91

別売品を使う 92

- アイカップを使う..... 92
- 専用フラッシュを使う..... 92
- ワイヤレスRCフラッシュ撮影..... 92
- 市販のフラッシュを使う..... 93

使い方のヒント 94

- 故障かな?と思ったら..... 94
- エラーメッセージ..... 95
- 撮影のヒント..... 97
- 再生・編集のヒント..... 98

資料 99

- アフターサービス..... 99
- カメラのお手入れと保管..... 99
 - カメラのお手入れ..... 99
 - カメラの保管..... 100
 - 画像処理機能をチェックする
ーピクセルマッピング..... 100
- 電池/充電器についてのご注意... 101
- 海外での使用について..... 101
- カードを使う..... 102
 - このカメラで使用できるカード... 102
- 画質モード/ファイル容量/
撮影可能枚数..... 103
- メニュー一覧..... 104
- 撮影モード設定可能一覧..... 109
- SCN 設定可能一覧..... 110
- ART 設定可能一覧..... 111
- 仕様..... 112

安全にお使いいただくために 116

- 安全にお使いいただくために..... 116
- 使用上のご注意..... 119
- その他のご注意..... 120





索引 122

作例写真をつかった撮影テクニック
ハウツー グッド ピクチャー

<http://www.olympus.co.jp/jp/imsj/webmanual/>

本書の表記について

本文中、以下の表記を使用しています。

 注意	故障やトラブルになるような重要な注意事項や絶対に避けていただきたい操作、使用上ご注意くださいについて記載しています。
 メモ	実際に操作するときを確認していただきたいことを記載しています。
 こんなときは	知っておくと便利なことや役に立つ情報を記載しています。
	関連する情報の参照ページを記載しています。

同梱品を確認する

お買い上げの商品には次の付属品が入っています。

万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。

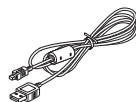


カメラ

- PCソフトウェア
CD-ROM
- 取扱説明書(本書)
- 保証書



ストラップ



USBケーブル(CB-USB6)



リチウムイオン電池(BLS-50)



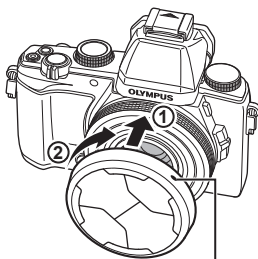
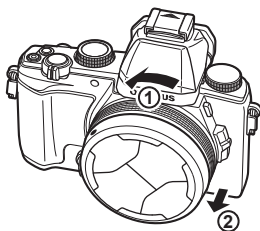
リチウムイオン充電器(BCS-5)

■ 自動開閉レンズキャップについて

レンズキャップは脱着可能です。

コンバージョンレンズ等をつける際は、レンズキャップを外して使います。

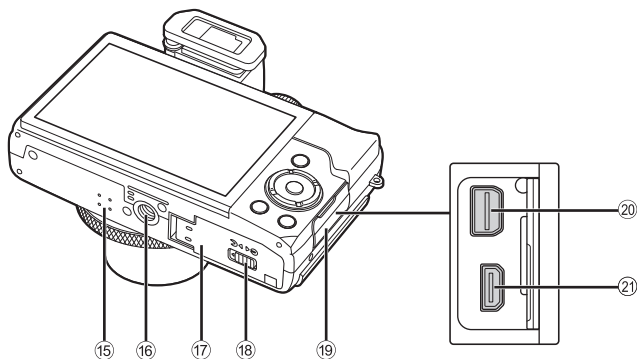
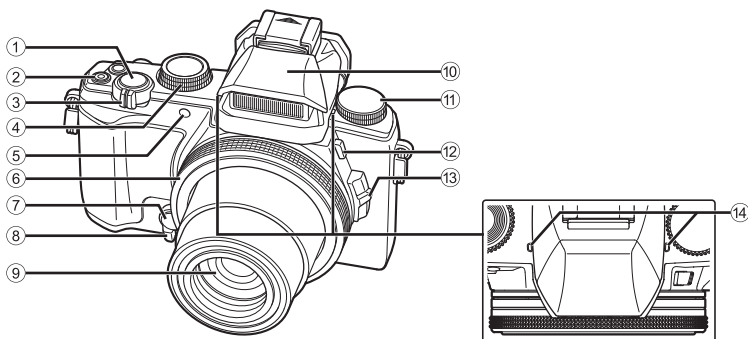
- 取り外し方
- 取り付け方



取り付け目印

●が上に来るように取り付けてください。

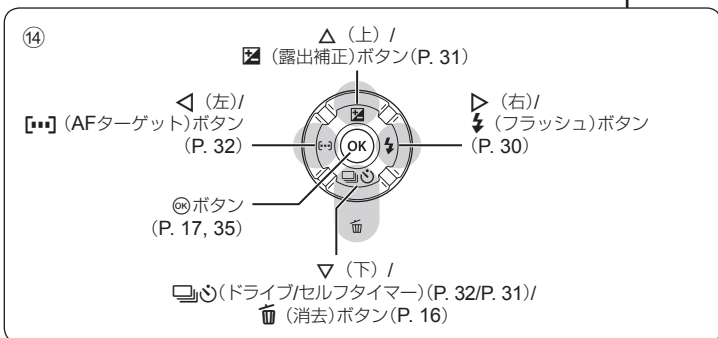
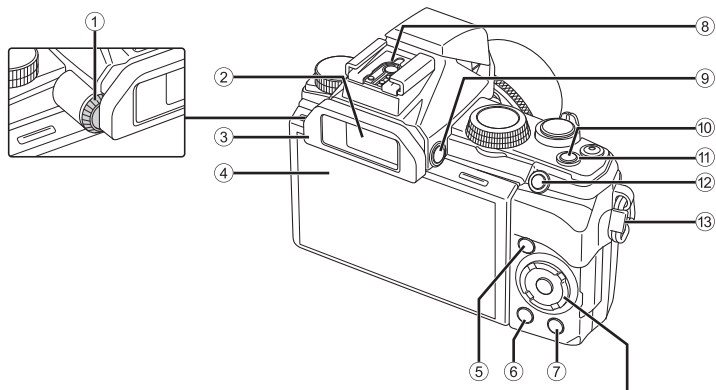
各部の名称



- | | |
|--|-------------------------------|
| ① シャッターボタン.....P. 14, 42 | ⑩ 内蔵フラッシュ.....P. 30 |
| ② (ムービー)ボタン/ ボタン
.....P. 17/P. 16 | ⑪ モードダイヤル.....P. 14, 20 |
| ③ ズームレバー.....P. 14, 15 | ⑫ フラッシュスイッチ.....P. 30 |
| ④ サブダイヤル ¹ ().....P. 15, 23 | ⑬ サイドズームレバー.....P. 72 |
| ⑤ セルフタイマーランプ/
AFイルミネータ.....P. 31/P. 70 | ⑭ ステレオマイク |
| ⑥ コントロールリング ² ()
.....P. 16, 21 - 23, 34, 72 | ⑮ スピーカー.....P. 17 |
| ⑦ ボタン.....P. 72 | ⑯ 三脚穴 |
| ⑧ レバー.....P. 21 - 23, 34, 70 | ⑰ 電池/カードカバー.....P. 11 |
| ⑨ レンズ | ⑱ 電池/カードカバーロック.....P. 11 |
| | ⑲ コネクタカバー |
| | ⑳ マルチコネクタ.....P. 82, 84, 88 |
| | ㉑ HDMIマイクロコネクタ(タイプD) ...P. 82 |

¹ 本書では、サブダイヤルの操作をのアイコンで示しています。

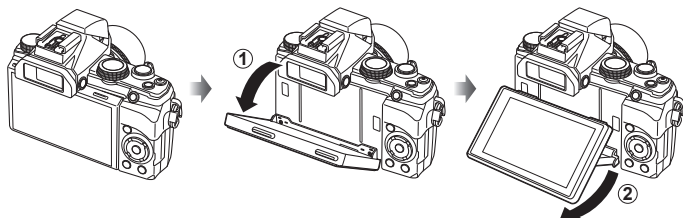
² 本書では、コントロールリングの操作をのアイコンで示しています。



- | | |
|--|-------------------------------|
| ① 視度調整ダイヤル.....P. 14 | ⑧ ホットシュー..... P. 92 - 93 |
| ② ファインダー.....P. 14, 45, 78 | ⑨ LCDボタン.....P. 78 |
| ③ アイカップ.....P. 92 | ⑩ ON/OFFボタン.....P. 12, 14, 45 |
| ④ モニター (タッチパネル)
..... P. 14 - 15, 45 - 46 | ⑪ 動作ランプ |
| ⑤ ▶ (再生) ボタン.....P. 15 | ⑫ Fn1 ボタン.....P. 16, 79 |
| ⑥ MENU ボタン.....P. 48, 59, 62, 71 | ⑬ ストラップ取り付け部.....P. 10 |
| ⑦ INFO (情報表示) ボタン.....P. 18, 19, 80 | ⑭ 十字ボタン.....P. 15 |

モニターの操作

モニターの角度を変えることができます。

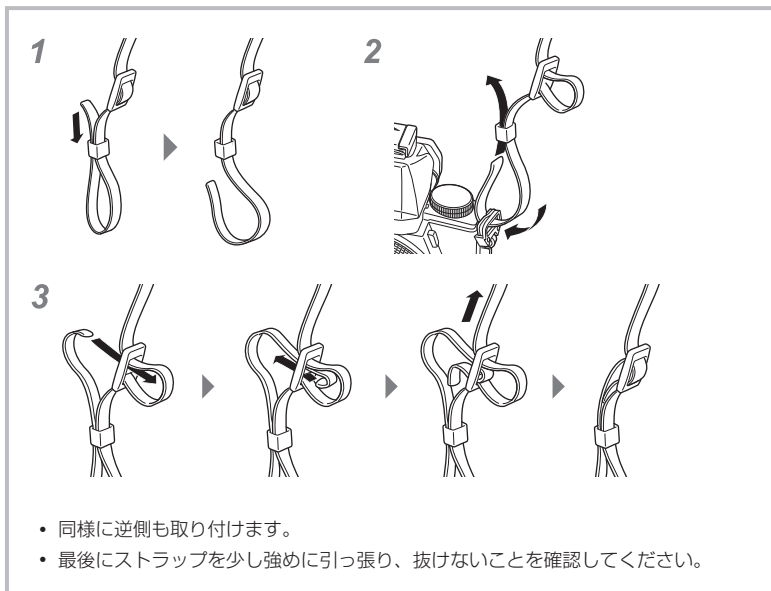


1 カメラの準備

1

カメラの準備

ストラップを取り付ける



電池を充電する

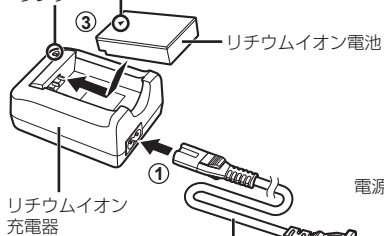
1 電池を充電器に装填して充電する。

充電表示ランプ

充電中	橙点灯
充電完了	消灯
充電エラー	橙点滅

(充電時間：最長約3時間30分)

充電表示ランプ



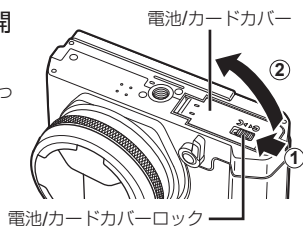
❗ 注意

- 充電が完了したら必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池とカードを入れる/取り出す

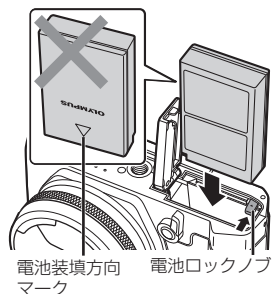
1 ①、②の手順で電池/カードカバーを開く。

- 電池/カードカバーの開け閉めの際は、電源を切ってください。



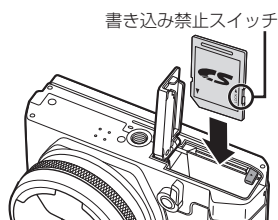
2 電池ロックノブを矢印の方向に押しながら電池を入れる。

- 電池は電池装填方向マークを裏側にして図のように入れてください。
- 電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押しロックを外して取り出します。



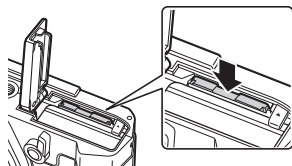
3 カードをまっすぐに差し、カチッと音がするまで押し込む。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカード、Eye-Fiカード以外は、絶対にカメラに入れないでください。
☞ 「カードを使う」(P. 102)
- カードの金属部には直接手を触れないでください。



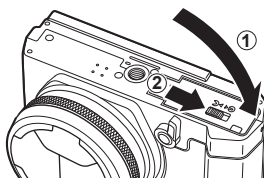
カードを取り出すには

カチッと音がするまでカードを押し込み、ゆっくり戻してから、カードをつまんで取り出します。



4 ①、②の手順で電池/カードカバーを閉じる。

- カメラをご使用の際は、必ず電池/カードカバーを閉じロックをしてください。

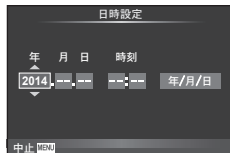


電源を入れ、初期設定をする

はじめて電源を入れたときは、モニターに表示されるメニュー表示等の言語の設定、日付の設定をする画面が表示されます。

1 **ON/OFF**ボタンを押して電源を入れてから、**△▽<▷**で言語を選び、**OK**ボタンを押す。

2 **△▽**で[年]を選ぶ。



3 **▷**を押して[年]を確定する。

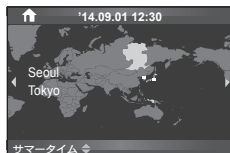


4 手順2、3と同様に、**△▽<▷**で[月]、[日]、[時刻]（時、分）、[年/月/日]（日付の順序）を設定したら、**OK**ボタンを押す。

- [分]を設定中に0秒の時報に合わせて**OK**ボタンを押すと、正確に時刻を合わせることができます。

5 **<▷**で[↑]の地域を選び、**OK**ボタンを押す。

- **△▽**で[サマータイム]の設定ができます。



カメラのスリープ動作について

何も操作しない状態で設定した時間が経過すると、スリープモード(待機状態)になってモニターが消灯し、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや**▶**ボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。スリープモードで5分放置すると電源が切れます。お使いになるときは、電源を入れなおしてください。

2 かんたんに使う

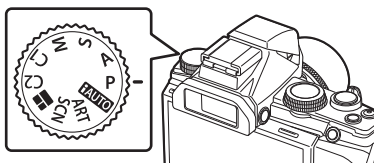
かんたんに使う

静止画を撮る

1 ON/OFFボタンを押して電源を入れる。

背面モニターが点灯します。

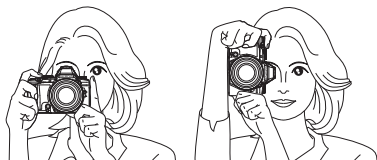
2 モードダイヤルをPにする。



3 カメラを構えて構図を決める。

ファインダーをのぞくと背面モニターが消灯し、ファインダーが点灯します。

- カメラを構えるときは、フラッシュやマイク等に指がかからないようご注意ください。

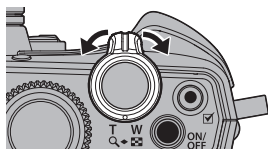


背面モニターを見ながら撮影することもできます。☑ 「モニターに被写体を表示して撮影する」(P. 45)

ズームを使う場合

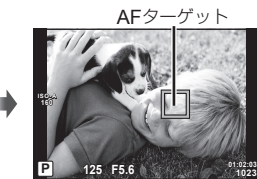
ズームレバーを回して撮影する範囲を調節します。

広角(W)側 望遠(T)側

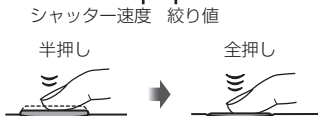


4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

AFターゲットマークが赤く点滅したときはピントが合っていません。もう一度やり直してください。



5 カメラが揺れないよう、シャッターボタンを静かに全押しして撮影する。



- ファインダー内の表示がぼやけて見えるときは、ファインダーをのぞきながら、視度調整ダイヤル(P. 9)を回します。
- タッチパネルを使って撮影することもできます。☑ 「タッチパネルを使って撮影する」(P. 46)

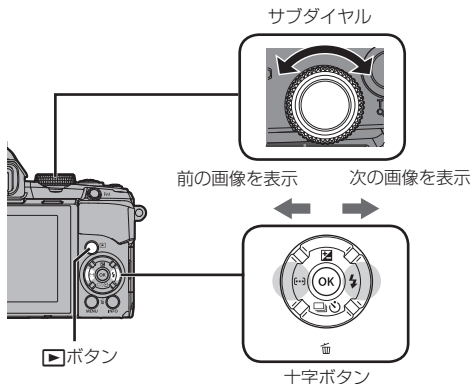
静止画を見る/消す

カメラの電源を**ON**にする。

静止画を見る

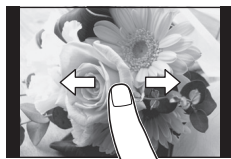
▶ボタンを押す。

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- <D>を押すかサブダイヤルを回すと画像が選択できます。



タッチパネルでコマ送り、コマ戻しすることもできます。

- タッチした状態で、指を左に動かすとコマ送りし、右に動かすとコマ戻します。

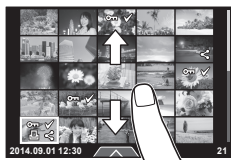


インデックス再生

- 1コマ再生でズームレバーをW側に回すとインデックス再生します。
- △▽<D>でカーソルを移動させます。
- ズームレバーをT側に回すと1コマ再生します。

☒にタッチしてインデックス再生することもできます。

- タッチした状態で、指を上動かすとページを送り、下に動かすとページを戻します。
- モニタにタッチして、メニューを表示します。
☒ または ☒ で表示するコマ数を切り換えられます。
☒ に何度かタッチすると1コマ再生に戻ります。
- 見たい画像にタッチすると1コマ再生します。



クローズアップ再生

- 1コマ再生でズームレバーをT側に回すと14倍まで拡大表示され、W側に回すと1コマ再生に戻ります。
- 拡大倍率はコントロールリングでも変更できます。
- 拡大中にタッチした状態で指を動かすとスクロールできます。
- 画面をダブルタップしてクローズアップ再生することもできます。
- 拡大バーをスライドさせて拡大倍率を変えることもできます。
- 1倍表示に戻すには、拡大バーで一番下までスライドさせます。



静止画を消す

消去したい画像を再生し、▽ (🗑️) を押します。**[実行]** を選択しⓂ️ ボタンを押すと消去されます。



画像のプロテクト(保護)

画像を誤って消さないように保護します。保護したい画像を再生して**Fn1** ボタンを押すと、画像に**Om** (プロテクトマーク) が付きます。再度**Fn1** ボタンを押すと解除されます。

プロテクトマーク

❗ 注意

- カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。



複数の画像を選択して消す/プロテクトする

画像の選択をします。複数の選択をして一括してプロテクトや削除をすることができます。☑️ ボタンを押すと画像が選択され、♥️ が表示されます。もう一度押すと解除されます。Ⓜ️ ボタンを押すと、消去かプロテクトかを選ぶメニューが表示されます。



画像に転送予約をつける ([シェア予約])

スマートフォンに転送したい画像をあらかじめ選択しておくことができます。転送したい画像を再生してⓂ️ ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。**[シェア予約]** を選びⓂ️ ボタンを押した後、△ または ▽ を押すと画像にシェア予約が付き、◀️ が表示されます。シェア予約を解除するには△ または ▽ を押します。

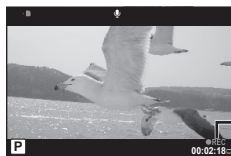
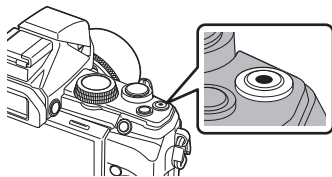
❗ 注意

- シェア予約できるコマは200コマです。

ムービーを撮る

カメラの電源を**ON**にする。

- 1 モードダイヤルを**P**にする。
- 2 **○** (ムービーボタン)を押して撮影を始める。
- 3 撮影を終了するにはもう一度 **○** (ムービーボタン)を押す。



撮影中表示
撮影時間

- CMOSのカメラの場合、ローリングシャッターによる動体歪みという現象が発生します。これは、動きの速い被写体や手ぶれの時に撮影画像に歪みが発生する物理現象です。特に長焦点で使用すると、この現象が顕著になります。

ムービーを見る

カメラの電源を**ON**にする。

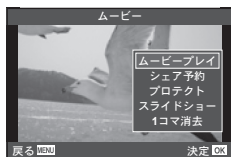
- 1 **▶** ボタンを押す
- 2 **<▶** を押すかサブダイヤルを回し、見たいムービーを選び**OK** ボタンを押す。
- 3 **[ムービープレイ]**を選択して、**OK** ボタンを押すとムービー再生が始まります。

- **OK** ボタンを押すと一時停止し、**MENU** ボタンを押すと再生を終了します。

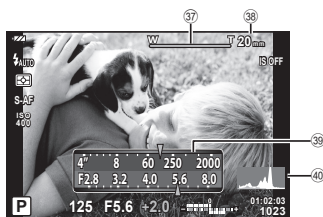
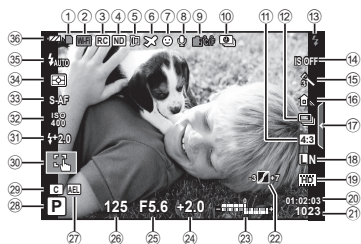
一時停止中

- **<▶** でフレーム戻し/フレーム送り
- **△▽** で先頭フレーム/末尾フレーム出し
- **OK** ボタンで再開

1コマ再生やムービー再生中に**△▽**を押すとスピーカーの音量調節ができます。



撮影時の画面表示



2

かんたんに使う

- | | | | |
|---|---|--|--|
| ① カード書き込み中 | ②③ Wi-Fi接続 P. 64 | ②③ 上：フラッシュ補正 P. 41 | ②③ 下：露出補正バー P. 31 |
| ④ RCモード P. 54, 92 | ④ NDフィルター P. 44 | ④ 露出補正値 P. 31 | ④ カスタムモード登録 P. 49 |
| ⑤ コンバージョンレンズ P. 55 | ⑤ デジタルテレコン P. 79 | ⑤ 絞り値 P. 14, 21-23 | ⑤ タッチ操作モード P. 46 |
| ⑥ ワールドタイム P. 63 | ⑥ ワールドタイム P. 63 | ⑥ シャッター速度 P. 14, 21-23 | ⑥ フラッシュ補正 P. 41 |
| ⑦ 顔優先 P. 43 | ⑦ 顔優先 P. 43 | ⑦ AEL P. 79 | ⑦ ISO感度 P. 43 |
| ⑧ ムービー録音 P. 77 | ⑧ ムービー録音 P. 77 | ⑧ 撮影モード P. 20-29 | ⑧ AF方式 P. 42 |
| ⑨ 内部温度上昇警告 P. 95 | ⑨ 内部温度上昇警告 P. 95 | ⑨ カスタムモード登録 P. 49 | ⑨ 測光方式 P. 41 |
| ⑩ インターバル撮影 P. 26 | ⑩ インターバル撮影 P. 26 | ⑩ タッチ操作モード P. 46 | ⑩ フラッシュモード P. 30 |
| ⑪ アスペクト比 P. 39, 52 | ⑪ アスペクト比 P. 39, 52 | ⑩ フラッシュ補正 P. 41 | ⑩ 電池残量 |
| ⑫ ドライブセルフタイマー P. 32/P. 31 | ⑫ ドライブセルフタイマー P. 32/P. 31 | ⑪ カスタムモード登録 P. 49 | <input checked="" type="checkbox"/> 点灯(緑)：撮影できます。(電源オン後、約10秒間表示します。) |
| ⑬ フラッシュ(点滅：充電中) P. 30 | ⑬ フラッシュ(点滅：充電中) P. 30 | ⑪ タッチ操作モード P. 46 | <input type="checkbox"/> 点灯(緑)：電池残量が少なくなっています。 |
| ⑭ 手ぶれ補正 P. 36 | ⑭ 手ぶれ補正 P. 36 | ⑪ フラッシュ補正 P. 41 | <input type="checkbox"/> 点滅(赤)：充電してください。 |
| ⑮ アートフィルター/シーン/ピクチャーモード P. 24/P. 24/P. 36, 50 | ⑮ アートフィルター/シーン/ピクチャーモード P. 24/P. 24/P. 36, 50 | ⑫ ISO感度 P. 43 | ⑫ スーム表示 P. 14 |
| ⑯ ホワイトバランス P. 37 | ⑯ ホワイトバランス P. 37 | ⑫ AF方式 P. 42 | ⑫ 倍率/焦点距離/35mm換算 P. 74 |
| ⑰ ライフガイド呼び出し P. 28 | ⑰ ライフガイド呼び出し P. 28 | ⑫ 測光方式 P. 41 | ⑫ コントロールリング機能 P. 106 |
| ⑱ 画質モード(静止画) P. 40, 103 | ⑱ 画質モード(静止画) P. 40, 103 | ⑫ フラッシュモード P. 30 | ⑬ ヒストグラム P. 18 |
| ⑲ 画質モード(ムービー) P. 40 | ⑲ 画質モード(ムービー) P. 40 | ⑬ 電池残量 | |
| ⑳ 録画可能時間 P. 103 | ⑳ 録画可能時間 P. 103 | <input checked="" type="checkbox"/> 点灯(緑)：撮影できます。(電源オン後、約10秒間表示します。) | |
| ㉑ 撮影可能枚数 P. 103 | ㉑ 撮影可能枚数 P. 103 | <input type="checkbox"/> 点灯(緑)：電池残量が少なくなっています。 | |
| ㉒ ハイライト&シャドウ P. 47 | ㉒ ハイライト&シャドウ P. 47 | <input type="checkbox"/> 点滅(赤)：充電してください。 | |

INFO ボタンで撮影時の情報表示の切り換えができます。



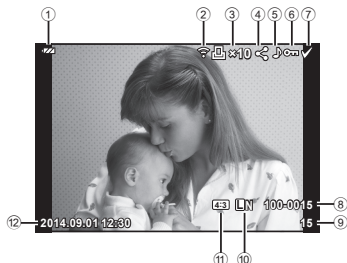
カスタムメニュー **[INFO/表示設定]** (P. 70) の設定で **[ハイライト&シャドウ]**、**[水準器1]**、**[水準器2]** を表示できます。

ヒストグラム表示

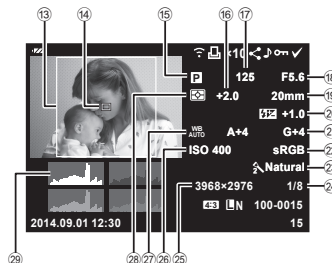
画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。撮影時は上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青、スポット測光のエリア内を緑で表示します。

再生時の画面表示

簡易表示



総合表示



- ① 電池残量
- ② Eye-Fi送信完了 P. 78
- ③ プリント予約
プリント枚数 P. 86
- ④ シェア予約 P. 16
- ⑤ 録音 P. 57, 61
- ⑥ プロテクト(保護) P. 16
- ⑦ 画像選択 P. 16
- ⑧ ファイル番号
- ⑨ コマ番号
- ⑩ 画質モード P. 39, 52, 103
- ⑪ アスペクト比 P. 39, 52, 60
- ⑫ 日時 P. 12, 63
- ⑬ アスペクト枠 P. 39, 52, 60
- ⑭ AFターゲット表示 P. 32

- ⑮ 撮影モード P. 20-29
- ⑯ 露出補正 P. 31
- ⑰ シャッター速度 P. 14, 21-23
- ⑱ 絞り値 P. 14, 21-23
- ⑲ 焦点距離 P. 14, 92
- ⑳ フラッシュ補正 P. 41
- ㉑ ホワイトバランス補正值 P. 76
- ㉒ カラー設定 P. 76
- ㉓ ピクチャーモード P. 36, 50
- ㉔ 圧縮率 P. 40, 76, 103
- ㉕ ピクセルサイズ P. 40, 76, 103
- ㉖ ISO感度 P. 43
- ㉗ ホワイトバランス P. 37
- ㉘ 測光方式 P. 41
- ㉙ ヒストグラム P. 18

INFOボタンで再生時の情報表示の切り換えができます。



カスタムメニュー **[Info表示設定]** (P. 70)の設定で**[ヒストグラム表示]**、**[ハイライト&シャドウ]**を表示できます。

3 基本機能を使って撮影する

撮影モードを使う

撮影モード一覧表

撮影モード	サブモード
iAUTO (iオートモード)	—
P (プログラム撮影)	—
A (絞り優先撮影)	—
S (シャッター優先撮影)	—
M (マニュアル撮影)	—
C1 (カスタムモード1)	—
C2 (カスタムモード2)	—
II (フォトストーリー)	スタンダード/ファンフレーム
SCN (シーンモード)	ポートレイト/ eポートレイト/ 風景/ インターバル撮影/ スポーツ/ 夜景/ 夜景&人物/ 夕日/ 文書/ パノラマ/ 打ち上げ花火/ 多重露光/ ビーチ&スノー
ART (アートフィルター)	ポップアート/ファンタジックフォーカス/デイドリーム/ ライトトーン/ラフモノクローム/トイフォト/ジオラマ/ クロスプロセス/ジェントルセピア/ドラマチックトーン/ リーニュクレール

撮影モードの選び方

1 モードダイヤルを回し、使うモードを指標に合わせる。

- 更に**SCN**、**ART**ではサブモードの選択、フォトストーリーではテーマを選択します。
この他に、**ART**ではタイプ(雰囲気)の選択及び効果に追加が出来ます。




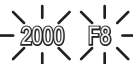
P プログラム撮影

Pモードは被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定する撮影モードです。

- 適正露出が得られない場合は、絞り値とシャッター速度表示が点滅します。




シャッター速度 絞り値

警告表示例(点滅)	状態	対処方法
	暗すぎます。	フラッシュをお使いください。
	明るすぎます。	[NDフィルター設定] をお使いください。 ☞ 「撮影機能を使う(ライブコントロールで設定する)」(P. 35)

プログラムシフト(Ps)

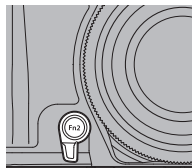
適正露出を維持したまま、絞り値とシャッター速度の組み合わせを変更します。

レバーをの位置にして、コントロールリングを回してプログラムシフトを行います。

- Ps**が表示されているときはプログラムシフトしている状態です。

プログラムシフトを解除するには、撮影モード表示が**P**になるまで、コントロールリングをプログラムシフトにしたときと逆方向に回します。

- フラッシュ使用時は、プログラムシフトは使えません。



プログラムシフト

A 絞り優先撮影

Aモードは、絞り値を設定するとカメラが適正なシャッター速度を自動的に設定する撮影モードです。

被写体を手前から奥まで鮮明に写したり、背景を意図的にぼかした撮影が出来ます。

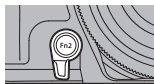
- 絞り (F値) を開く (絞り値の数値を小さくする) ほど、ピントの合う範囲 (被写界深度) が狭くなり、背景のボケが強くなります。
- 絞りを絞る (絞り値の数値を大きくする) ほど、ピントの合う範囲が前後に広がります。

レバーを図の位置にして、コントロールリングを回して絞り値を設定します。

- 適正露出が得られない場合は、シャッター速度表示が点滅します。



絞り値



警告表示例(点滅)	状態	対処方法
	暗すぎます。	絞り値を小さくしてください。
	明るすぎます。	[NDフィルター設定] をお使いください。 [撮影機能を使う(ライブコントロールで設定する)] (P. 35) 又は、絞り値を大きくしてください。

絞り値が小さい	F2.8 ← F5.6 → F8.0	絞り値が大きい
---------	--------------------	---------

S シャッター優先撮影

Sモードは、シャッター速度を設定するとカメラが適正な絞り値を自動的に設定する撮影モードです。

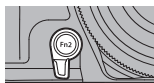
速く動く被写体の一瞬を切り取ったり、被写体の動きを表現した撮影が出来ます。

シャッター速度



レバーを図の位置にして、コントロールリングを回してシャッター速度を設定します。

- 適正露出が得られない場合は、絞り値表示が点滅します。

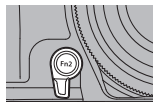


警告表示例(点滅)	状態	対処方法
	暗すぎます。	シャッター速度を遅くしてください。
	明るすぎます。	[NDフィルター設定] をお使いください。 [撮影機能を使う(ライブコントロールで設定する)] (P. 35) 又は、シャッター速度を速くしてください。

M マニュアル撮影

Mモードは絞り値とシャッター速度を自分で設定する撮影モードです。シャッターボタンを押している間露光し続けるバルブ撮影にも設定できます。

レバーを図の位置にして、コントロールリングでシャッター速度、サブダイヤルで絞り値を設定します。



- 露出補正バーで、設定されている絞り値とシャッター速度から算出される露出と、適正露出との露出差が表示されます。
- シャッター速度は1/2000～60秒、および[BULB]に設定できます。
- コントロールリングとサブダイヤルに割り当てる機能を変更できます。☞「カスタムメニュー」(P. 70)



シャッター速度 露出補正バー

❗ 注意

- Mモードでは、露出補正はできません。

露出終了タイミングを決めて撮影する(バルブ撮影)

シャッターボタンを押している間、露光し続けるバルブ撮影を行います。被写体にあわせて露出終了タイミングを決めて撮影します。花火や夜景などの撮影に使います。

Mモードでシャッター速度を[BULB]に設定します。

❗ 注意

- 最長15分(初期設定)
- バルブ撮影の最長時間は、ISO感度に依存します。
- バルブ撮影の際は、ぶれを抑えるために、しっかりした三脚やリモートケーブル(別売)の使用をおすすめします。
- バルブ撮影中は、以下の機能は使用できません。
連写／セルフタイマー撮影／AEブラケット撮影／手ぶれ補正／フラッシュブラケット

画像のノイズについて

長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流を発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境でISO感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に表れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラは長秒時ノイズ低減が働きます。☞「カスタムメニュー」(P. 70)

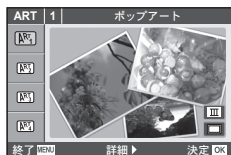
ART アートフィルター

ポスターや絵画で見る独特の色調や特殊な効果かけた写真を簡単に撮影できます。

1 モードダイヤルを**ART**に設定する。

2 Δ / ∇ でサブモードを選択し \odot ボタンを押して決定する。

- 再度 \odot ボタンを押すとサブモード選択画面が表示されます。



3

基本機能を使って撮影する

タイプの選択、効果の追加方法

サブモードを選択し \odot ボタンを押して決定する前に \triangleright を押し、タイプ選択、効果追加画面を表示する。

タイプの選択

更に \triangleright を押し、 Δ / ∇ でタイプ選択し \odot ボタンを押して決定します。

効果の追加

∇ 、 \triangleright を押した後 Δ / ∇ で追加する効果を選択し \odot ボタンを押して決定します。



SCN シーンモード

被写体や撮影シーンに合わせてサブモードを選ぶだけで、適切な設定で撮影できます。

1 モードダイヤルを**SCN**に設定する。

2 Δ / ∇ でサブモードを選択し \odot ボタンを押して決定する。

- 再度 \odot ボタンを押すとサブモード選択画面が表示されます。



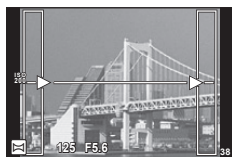
⚠ 注意

- 【eポートレート】では、効果適用前と適用後の画像の2枚が同時に記録されます。設定した画質モードで効果適用前の画像を、また、JPEG (M (2560×1920))で効果適用後の画像を記録します。
- ムービー撮影では、一部のモードで効果が適用されません。

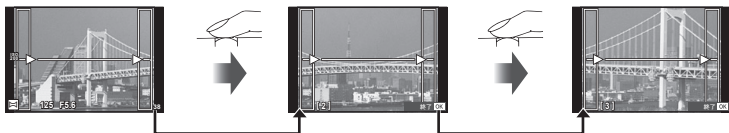
■ パノラマ写真を撮影する

撮った画像をつなぎ合わせて、パノラマ合成画像を作成できます。パノラマ合成をするには、お使いのパソコンに付属のPCソフトウェアをインストールする必要があります。☞ 「ソフトウェアのインストール」(P. 88)

- 1 モードダイヤルを**SCN**に設定する。
- 2 [パノラマ]を選択して、**OK**ボタンを押す。
- 3 $\Delta \nabla \langle \rangle$ で画像をつなぐ方向を選ぶ。
- 4 ガイド枠を目安に、1コマ目を撮影する。
 - ピントや露出などは、1コマ目の撮影で決定されます。



- 5 ガイド枠内が、前の画像と重なる構図で次のコマを撮影する。



- 最大10枚までの撮影と合成が可能です。10枚撮り終わると**!** (警告)マークが表示されます。

- 6 最後のコマを撮影した後に**OK**ボタンを押して、パノラマ撮影を終了する。

⚠ 注意

- パノラマ撮影時には、前に撮影した位置合わせ用の画像は表示されません。画像に表示される枠や目印となる被写体を目安に、重なり合う画像の端が枠の中に重なるように構図を設定してください。

📝 メモ

- 1コマ目の撮影前に**OK**ボタンを押すと、シーンモードの選択メニューに戻ります。撮影の途中で**OK**ボタンを押すと、一連のパノラマ撮影を終了し、続けて次のパノラマ撮影ができます。

■ 一定時間ごとに自動的に撮影する(インターバル撮影)

設定した間隔で自動的に撮影できます。また撮影した一連のコマをひとつのムービーとして記録することもできます。インターバル撮影の前に、撮影メニュー2の[インターバル設定] (P. 55)でコマ数や撮影間隔を設定しておく必要があります。撮影メニューの設定方法については、「撮影機能の設定を行う」(P. 48)をご覧ください。

1 モードダイヤルを**SCN**に設定する。

2 Δ ∇ で[インターバル撮影]を選択して、 \odot ボタンを押す。

3 撮影する。

- AF後、ピントが合わなくても撮影されます。
- [撮影確認] (P. 63)は0.5秒で動作します。
- [撮影開始待ち時間]、[撮影間隔]の設定を1分31秒以上にすると、1分でモニターが消灯してカメラの電源が切れます。撮影10秒前に自動的に復帰します。また、モニター消灯中に**ON/OFF**ボタンを押しても復帰します。

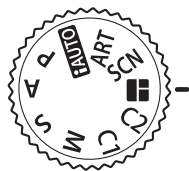
⚠ 注意

- インターバル撮影では、使用できる機能が一部制限されます。
 - AF方式は、[S-AF]に固定されます。
 - 連写はできません。
 - タッチ操作は受け付けません。
 - バルブ撮影およびブラケット撮影との併用はできません。
- フラッシュの充電や撮影後の処理に時間がかかる場合は、設定した時間よりも撮影間隔が長くなります。
- インターバル撮影中は、カメラの電源が自動的に切れても次の撮影前に復帰します。
- 撮影した静止画が正しく記録されていない場合、タイムラプス動画は生成されません。
- カード残量が不足した場合、タイムラプス動画は記録されません。
- 撮影開始後に次の操作をするとインターバル撮影は終了します。
 - モードダイヤルを回す / **MENU**ボタンまたは \blacktriangleright ボタンを押す / **USB**ケーブルを接続する
- 電源を切ると、インターバル撮影を終了します。
- 電池残量が少なくなると途中で撮影を終了します。十分に充電した電池をお使いください。

■ フォトストーリー

撮影すると設定したレイアウト枠に画像が組み込まれ、お好みの組み写真を作成することができます。テーマやストーリーを持たせることで幅広い写真表現が楽しめます。

1 モードダイヤルを■に設定する。



2 △▽でテーマを選択して▷を押す。

テーマの種類

- 1 スタANDARD
- 2 ファンフレーム

3 各テーマで設定したい項目を△▽◀▶で選択して、OKボタンで確定する。

- シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。



■1 STANDARD	■2 ファンフレーム
<p>[タイプ]のサブメニュー [効果]</p> <p>[タイプ]</p> <p>[分割数]</p> <p>選択中の項目</p>	<p>[効果]</p>

4 被写体の見えているフレームをタッチして撮影する。



- 被写体の見えていないフレームにタッチすると、タッチしたフレームに被写体が見えるようになります。

5 同様にして各フレームの撮影をする。

- 撮影したフレームには撮影した画像が表示されます。
- 表示されている画像をタッチして、**OK**が表示中に**OK**をタッチすると撮った画像がキャンセルされ、再度撮影することが出来ます。
- 撮影した画像を保存せず終了するには、**MENU**ボタンを押し \odot ボタンを押します。

6 すべてのフレームを撮影したら**OK**にタッチし、画像を保存する。

❗ 注意

- 撮影の途中で撮影モードを変更した場合、画像は保存されません。
- 画像は1枚の組み写真として保存されます。RAW+JPEG設定時はフレームごとにRAWを保存します。

C1 / C2 カスタムモード

撮影でよく使う設定等、お好みの撮影設定を登録しておき、その設定を呼び出して撮影します。

- **C1**、**C2**にそれぞれに設定の登録が出来ます。登録方法は(P. 49)をご参照ください。モードダイヤルを**C1**または**C2**に合わせて使います。

f*AUTO* iオート

カメラが撮影シーンに最適な撮影モードを自動的に設定するフルオートモードです。カメラまかせで撮影するので、はじめての方には便利です。モードダイヤルを**f*AUTO***に合わせて使います。

- **f*AUTO***では、“鮮やかさ”、“色合い”、“明るさ”、“背景ぼかし”、“動き”などの効果の設定を専門用語を使わず、モニター画面で効果を確認しながら設定できる**[ライブガイド]**を使うことが出来ます。

※ **[ライブガイド]**は**f*AUTO***のみで使用できます。

■ ライブガイドの使い方

撮影モードが**f*AUTO***の時

- 1 タブにタッチした状態で、指を左に動かしライブガイドを表示する。

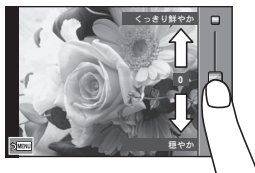


2 ガイド項目を選択しタッチする。

- ガイド項目は上から、【鮮やかさ】、【色合い】、【明るさ】、【背景ぼかし】、【動き】、【撮影のヒント】になります。
- 【撮影のヒント】では効果の設定は出来ません。



3 レベルバーのスライダーを指で上下させて設定したい所で、**OK** ボタンを押して確定する。



4 シャッターボタンを押して撮影する。

- **MENU** ボタンを押すと設定がキャンセルされます。
- 撮影モードの変更や再生でもキャンセルされます。


❗ 注意

- 画質モードが【RAW】のとき、自動的に【L+N+RAW】に設定されます。
- RAW画像の場合、【背景をぼかす】、【動きを表現する】以外のライブガイド設定は適用されません。
- ムービー撮影では、【背景をぼかす】、【動きを表現する】の設定は適用されません。
- ライブガイドの設定レベルによっては、画像の粗さが強調される場合があります。
- ライブガイドの設定レベルを変えても、効果をライブビューであまり確認できない場合があります。
- ライブガイドではフラッシュは無効です。
- ライブガイド項目を変更すると、前の項目の設定はキャンセルされます。
- ライブガイドの設定がカメラの連動範囲外になると、白く飛んだり暗い画像になる場合があります。

4 各種機能を使って撮影する

ダイレクトボタン、ボタン、**MENU**ボタンのいずれかを押して、各種機能を使用します。

⚠ 注意

- 撮影モードによっては選択できない機能があります。
 「撮影モード設定可能一覧」(P. 109)






撮影機能を使う(ダイレクトボタン操作で設定)

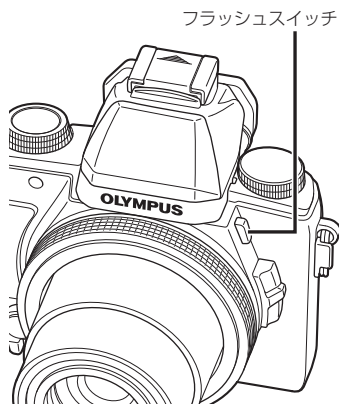
4









各種機能を使って撮影する

フラッシュ撮影

フラッシュを発光させて被写体に光を当てて撮影できます。

- 1 フラッシュスイッチを押してフラッシュをポップアップさせる。
- 2  ボタン()を押して、選択項目を表示する。
- 3   でフラッシュ発光モードを選択し、 ボタンを押して決定する。



 AUTO	オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
	赤目軽減発光	人物の目が赤く写る現象を起こりにくくします。
	強制発光	フラッシュを必ず発光させます。
	発光禁止	フラッシュは発光しません。
 *1 SLOW	スローシンクロ + 赤目軽減発光	スローシンクロと赤目軽減発光を併用します。
 SLOW *1	スローシンクロ	背景が明るく撮れるように遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。
 FULL 、  1/4など	マニュアル発光	マニュアル操作で撮影をする人向け。

*1 P、Aモードのみ

4 シャッターボタンを押して撮影する。

- **[EYE]** (赤目軽減発光)では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。
- 撮影状況によっては、**[EYE]** (赤目軽減発光)の効果が得られないことがあります。
- **HAUTO**では**⚡AUTO**、**Ⓢ**のみ選択できます。
- 被写体が近いとレンズの影になったり、発光量を最小にしても強すぎる場合があります。
- 露出オーバーを防ぐには**A**、**M**モードなどで絞り値を大きく、ISO感度を小さく設定して撮影します。

露出補正

画像全体を明るく又は暗く調整して撮影できます。

1 サブダイヤルを回して露出補正を行う。

- +/−ボタン(Δ)を押して、<>ボタンを押しても設定できます。
- +に補正すると画像が全体的に明るく、−に補正すると全体的に暗くなります。



2 シャッターボタンを押して撮影する。

セルフタイマー

シャッターボタンを押した後、2秒または12秒後に撮影できます。

1 **[MENU]**ボタン(▽)を押して、設定可能状態にする。

2 <>で[Ⓢ12s]、[Ⓢ2s]または[ⓈC]を選択し、**[OK]**ボタンを押す。

Ⓢ12s	セルフタイマー 12s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、撮影されます。
Ⓢ2s	セルフタイマー 2s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約2秒間点滅した後、撮影されます。
ⓈC	セルフタイマー カスタム	撮影メニューで設定した「撮影枚数、撮影開始までの時間、撮影間隔」で撮影します。

- セルフタイマー作動中に撮影を中止するには、**[MENU]**ボタンを押します。
- セルフタイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。
- セルフタイマー撮影時に、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがボケる原因になります。
- セルフタイマーの設定は、撮影が終わっても自動的に解除されません。

単写/連写

- 1 ボタン(▽)を押して、設定可能状態にする。
- 2 で または を選択し、 ボタンを押す。

単写	一度のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます(通常の撮影モード、1コマ撮影)。
連写	シャッターボタンを全押ししている間、約7コマ/秒で連続撮影できます。

- 連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。
- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。

4

各種機能を使って撮影する

ブラケット撮影(BKT)

シャッターボタンを押している間、1コマごとに撮影設定を自動的に変えてあらかじめ設定したコマ数分、撮影をします。

- 1 ボタン(▽)を押して、設定可能状態にする。
- 2 で **[BKT]** を選択し、 ボタンを押す。

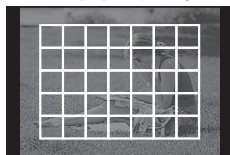
- ブラケット撮影をするには、あらかじめ**[ブラケット撮影]** (P. 53)を設定しておく必要があります。

AFターゲット選択

通常では35点のAFターゲットからカメラが自動的に位置を選びピント合わせが行われますが、ピントを合わせる位置を選ぶことができます。

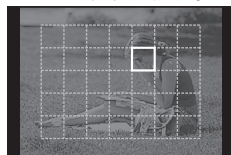
- 1 ボタン(◁)を押して、AFターゲットを表示する。
- 2 で緑の四角枠をピントを合わせたい位置に移動する。

オールターゲット



すべてのAFターゲットから、カメラがピントを合わせるAFターゲットを自動的に選びます。

シングルターゲット



ピント合わせをするAFターゲットを手動で選びます。

- 端の枠からさらに外側に移動させるとオールターゲットに戻ります。
- デジタルテレコン使用時はAFポイントは9点になります。

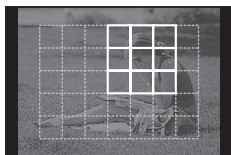
■ スモールターゲットやグループターゲットを使う

AFターゲットを表示中に**INFO**ボタンを押すと、AFターゲットの選択方法を変更できます。

グループターゲット

35点の中から9点に絞り込んだエリアでピント合わせを行います。(エリアによっては6または4点)

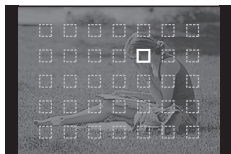
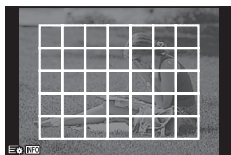
- 1 **[AF]**ボタン(◁)を押して、AFターゲットを表示する。
- 2 **INFO**ボタンを押してから△▽でグループターゲットを表示する。
- 3 **OK**ボタンを押してグループターゲットモードを確定する。
- 4 △▽◁▷で緑の四角枠のグループをピントを合わせたい位置に移動する。
 - 選択したグループの中から、カメラがピントを合わせるAFターゲットを自動的にお選びします。



スモールターゲット

シングルターゲット(P. 32)よりも小さいAFターゲットで、ピント合わせの位置を選ぶことができます。

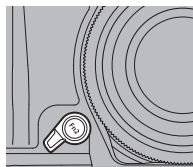
- 1 **[AF]**ボタン(◁)を押して、AFターゲットを表示する。
- 2 **INFO**ボタンを押してから△▽でスモールターゲットを表示する。
- 3 **OK**ボタンを押してスモールターゲットモードを確定する。
- 4 △▽◁▷で緑の四角枠をピントを合わせたい位置に移動する。



マニュアルフォーカス(MF)

ピントを手動で合わせて撮影できます。

- 1 レバーを図の位置にして、コントロールリングを回す。



4

各種機能を使って撮影する

撮影機能を使う(ライブコントロールで設定する)

P/A/S/Mモードでは \odot ボタンを押してライブコントロールを表示させ、機能の設定ができます。ライブコントロールを使うと、画面で効果を確認しながら撮影機能の設定をすることができます。

設定できる機能

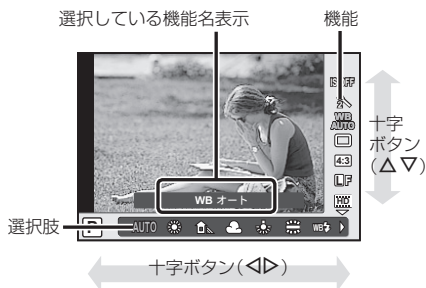
手ぶれ補正.....P. 36	フラッシュ補正.....P. 41
ピクチャーモード.....P. 36	測光方式.....P. 41
ホワイトバランス.....P. 37	AF方式.....P. 42
ドライブセルフタイマー.....P. 32/P. 31	ISO感度.....P. 43
アスペクト比設定.....P. 39	顔優先.....P. 43
画質モード.....P. 39	NDフィルター設定.....P. 44
フラッシュモード.....P. 30	

1 \odot ボタンを押してライブコントロールを表示する。

- 再度 \odot ボタンを押すとライブコントロールの表示が消えます。

2 Δ / ∇ で設定したい機能に移動し、 \triangleleft / \triangleright で選択肢を選択し \odot ボタンを押す。

- 何も操作せずに約8秒間経過すると、設定が確定します。



⚠ 注意

- 撮影モードによっては選択できない機能があります。
📷 「撮影モード設定可能一覧」(P. 109)

手ぶれ補正

被写体が暗いときや高倍率撮影をするときなど、手ぶれが起きやすい場面で手ぶれを抑えることができます。

- 1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、**△▽**で手ぶれ補正(IS)の項目を選択する。
- 2 **<D>**で**[ON]**を選択して**OK** ボタンを押す。



- 手ぶれが大きすぎる場合やシャッター速度が極端に遅い場合、手ぶれを補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。
- 三脚使用時は**[手ぶれ補正]**を**[Off]**に設定してください。

4

各種機能を使って撮影する

ピクチャーモード

画像の色調を変えることができます。

モードダイヤルが**SCN**、**ART**、**[i]AUTO**、**[M]**時は設定できません。

- 1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、**△▽**でピクチャーモードの項目(**i**)を選択する。



i iFinish	撮影シーンに合った印象的な仕上がりになります。
i Vivid	色鮮やかに仕上げます。
i Natural	自然な色合いに仕上げます。
i Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
i Portrait	肌色をきれいに仕上げます。
[M] モノトーン	モノクロ調に仕上げます。
[ART] ポップアート	アートフィルターの設定になります。さらにそれぞれのアートエフェクト機能が使えます。
[ART] ファンタジックフォーカス	
[ART] デイドリーム	
[ART] ライトトーン	
[ART] ラフモノクローム	
[ART] トイフォト	
[ART] ジオラマ	
[ART] クロスプロセス	
[ART] ジェントルセピア	
[ART] ドラマチックトーン	
[ART] リーニュクレール	

ホワイトバランス

ホワイトバランス(WB)は白いものを白く写すための機能です。通常は[AUTO](オート)で問題ありませんが、適切な白にならない場合や、逆に色合いを出したい場合は光源に合わせて、[AUTO]以外のホワイトバランスを手動で設定します。

1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、**△▽**でホワイトバランスを選択する。



2 **<>**で項目を選択し、**OK** ボタンを押す。

WB モード		設定される色温度	適した撮影シーン
オート ホワイトバランス	AUTO	—	一般的なほとんどの撮影シーン(画面内に白に近い色が存在する撮影シーン)。通常はこのモードをお使いください。
プリセット ホワイトバランス		5300K	晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき
		7500K	晴天の日に屋外の日陰で撮るとき
		6000K	曇天の日に屋外で撮るとき
		3000K	電球に照らされている被写体を撮るとき
		4000K	蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき
		5500K	フラッシュ撮影のとき
ワンタッチ ホワイトバランス	 	ワンタッチホワイトバランスで設定した色温度	白かグレーの測定できる被写体があり、特性のわからないフラッシュや光源のときや、光源が複数あって特定できないとき
カスタム ホワイトバランス	CWB	2000K～14000K	INFO ボタンを押した後、 <> で色温度を選択し、 OK ボタンを押します。

■ ワンタッチホワイトバランスの設定

撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。自然光だけでなく、複数の異なる色温度の光源に照らされた撮影に有効です。

1 [☑1]または[☑2]（ワンタッチホワイトバランス1または2）を選択した後、**INFO**ボタンを押す。

2 白かグレーのように無彩色の紙を撮影する。

- 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
- ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。

3 [実行]を選択して \odot ボタンを押す。

- ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの1つとしてカメラに登録されます。
- 新しいワンタッチホワイトバランスを登録するまで、カメラに記憶されます。電源を切っても消去されません。



こんなときは

- 明るすぎる、暗すぎる、極端な色味の場合は**[不適切なデータです 撮り直してください]**と表示され登録できません。撮影条件を変えて、手順1からやりなおしてください。

アスペクト比設定

撮影時のアスペクト比(横×縦)を変更します。撮影目的に応じた縦横比を[4:3] (基準)/[16:9] / [3:2] / [1:1]から選びます。

1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、 Δ ∇ でアスペクト比設定を選択する。

2 \triangleleft \triangleright でアスペクト比を選択し、**OK** ボタンで確定する。

① 注意

- JPEG形式の画像は、アスペクト比に応じてトリミングされて保存されますが、RAW画像はトリミングされずに、撮影時のアスペクト比情報が付加された状態で記録されます。
- RAW画像再生時は、アスペクト比に応じた枠が表示されます。

画質モード

静止画とムービーの画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など用途に応じて選べます。

1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、 Δ ∇ で静止画またはムービーの画質モードを選択する。

2 \triangleleft \triangleright で項目を選択し、**OK** ボタンを押す。



画質モード

■ 静止画の画質モード

選択可能な画質モードはRAWとJPEG (L/F/N/M/S)です。RAW+JPEGの場合、RAWとJPEGの2種類の画像を同時に記録します。JPEGは画像サイズ(L/M/S)と圧縮率(SF/F/N/B)の組み合わせからできています。組み合わせは「% カスタムメニュー」(P. 70)の[画質設定]で変更できます。

画像サイズ		圧縮率				用途
サイズ名	ピクセルサイズ	SF (Super Fine)	F (Fine)	N (Normal)	B (Basic)	
L (Large)	3968 × 2976*	L SF	L F*	L N*	L B	プリントサイズに合わせて選択
M (Middle)	3200 × 2400	M SF	M F	M N*	M B	
	2560 × 1920*					
	1920 × 1440					
	1600 × 1200					
S (Small)	1280 × 960*	S SF	S F	S N*	S B	小さいプリントやホームページ用
	1024 × 768					
	640 × 480					

* 初期設定

RAW画像とは

写真にする前の未加工の状態で、撮影後に絵作りをしたり、念のために保存しておくためのデータ(拡張子「.ORF」)です。他のカメラや一般のソフトウェアでの再生・表示、プリント予約はできません。「再生メニュー」(P. 59)の[編集]でJPEGにすることができます。

■ ムービーの画質モード

画質モード	ピクセルサイズ	フレームレート	最長記録時間
Full HD	1920 × 1080	30 fps	29分
HD	1280 × 720	30 fps	
HS120*	640 × 480	120 fps	20秒
HS240*	320 × 240	240 fps	

* HS：動きの速い被写体を撮影してスローモーション再生します。撮影モードがP/A/S/Mモードのときに選択できます。

⚠ 注意

- 1ファイルは4GBまでに制限されます。
- 使用するカードによっては最長時間まで記録されずに、途中で撮影が終了する場合があります。

フラッシュ発光量補正

フラッシュの光で被写体が白く飛んでしまったり、全体的にはちょうどよい明るさなのに被写体だけが暗い写真になってしまうときにフラッシュの発光量を調整します。

- 1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、**△▽**でフラッシュ補正を選択する。
- 2 **◀▶**で項目を選択し、**OK** ボタンを押す。










測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更します。

- 1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、**△▽**で測光を選択する。
- 2 **◀▶**で項目を選択し、**OK** ボタンを押す。



 ESP測光	撮影シーンや顔([◎顔優先]が[Off]以外のとき)などを考慮し最適な露出値を演算します。通常はこのモードをおすすめします。	
 中央重点平均測光	画面の中央部に重点を置いて、画面全域を平均測光します。	
 スポット測光	測光したいポイントにカメラを向け、狭い範囲の明るさを測光するときに使います。測光した箇所が適正な明るさになります。	
 HI スポット測光ハイライト	スポット測光したポイントがより明るくなります。明るいところを明るく表現します。	
 SH スポット測光シャドウ	スポット測光したポイントがより暗くなります。暗いところを暗く表現します。	

AF方式

ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択します。

1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、**△▽**でAF方式を選択する。

2 **◀▶**で項目を選択し、**OK** ボタンを押す。

- 選択したAF方式が画面に表示されます。



S-AF (シングルAF)	シャッターボタンを半押しすると1回だけピント合わせを行います。ピントが合うと、ピピッと音がして、画面にAFターゲットが点灯します。静物や動きの激しくない被写体を撮影するのに適しています。
スーパーマクロ	被写体に5cmまで接近して撮影できます。
C-AF (コンティニュアスAF)	シャッターボタンを半押ししている間、ピント合わせを繰り返します。被写体にピントが合うと、画面にAFターゲットが点灯します。また、1回目の合焦時には、ピピッと音がします。撮影距離が絶えず変化する被写体の撮影に適しています。
C-AF+TR (追尾AF)	シャッターボタンの半押しでピントの合った被写体を、半押ししている間追尾してピント合わせの動作を繰り返します。 <ul style="list-style-type: none">• 追尾被写体を見失うと、AFターゲットが赤く表示されます。シャッターボタンを離して、もう一度被写体に合わせてシャッターボタンを半押ししてください。
MF (マニュアルフォーカス)	任意の位置に手でピントを合わせることができます。 OK ボタンを長押ししてから、 △▽ でピントを調整します。

⚠ 注意

- スーパーマクロ撮影のときは、フラッシュとズームは設定できません。ズームは自動的に固定されます。
- 明るさが不足している、霧などで被写体がかっきり見えないなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。

■ フォーカスロックを使う

狙った被写体にうまくピントが合わないときは、AFターゲットをシングルターゲットにして被写体とほぼ同じ距離のものにピントを固定します。

1 **[S-AF]**で被写体にAFターゲットを合わせ、半押しする。

- AFターゲットマークが緑色に点灯していることを確認してください。
- 半押ししている間、ピントは固定されます。

2 半押ししたまま、被写体との距離が変わらないように構図を変えて、全押しする。

- シャッターボタンを半押ししている間、被写体との距離は変えないでください。

ISO感度

ISO感度の数値を大きくするとノイズ(ざらつき)が大きくなりますが、暗いところでの撮影が可能になります。通常は、撮影状況に応じて感度が変わる【AUTO】のご使用をおすすめします。

- 1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、 Δ ∇ でISO感度を選択する。
- 2 \triangleleft \triangleright で項目を選択し、**OK** ボタンを押す。

AUTO	撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。
100 ~ 12800	ISO感度を選択できます。

😊 顔優先

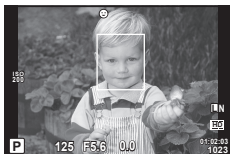
カメラが自動的に人物の顔を検出して、ピント合わせやESP測光の調整を行います。

- 1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、 Δ ∇ で顔優先を選択する。
- 2 \triangleleft \triangleright で選択し、**OK** ボタンを押す。



OFF 顔優先Off	顔優先AFを行いません。
😊 顔優先On	顔優先AFを行います。
👁️ 顔・瞳優先On	近いほうの瞳を検出して顔優先AFを行います。
👁️ 顔・瞳(右側)優先On	被写体の右側の瞳を検出して、顔優先AFを行います。
👁️ 顔・瞳(左側)優先On	被写体の左側の瞳を検出して、顔優先AFを行います。

- 3 カメラを被写体に向ける。
 - ・顔が検出されたら白い枠が表示されます。
- 4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。
 - ・枠の顔にピントが合うと、枠が緑に変わります。
- 5 シャッターボタンを全押しする。



⚠️ 注意

- ・連写中は最初の1コマのみ顔優先機能が働きます。
- ・被写体によっては、顔が検出できないことがあります。
- ・【ESP】(ESP測光)以外の測光モードを選択しているときは、その位置で測光します。

NDフィルター設定

[On]にするとレンズに入る光の量を少なくすることができます。川の流れをスローシャッターで撮影したり、日差しの強い場所で絞りを開けて撮影することができます。

- 1 **OK** ボタンを押してライブコントロールを表示し、**△▽**でNDフィルター設定を選択する。
- 2 **◀▶**で項目を選択し、**OK** ボタンを押す。

Off	NDフィルターを使用しません。
On	NDフィルターを使用します。

4

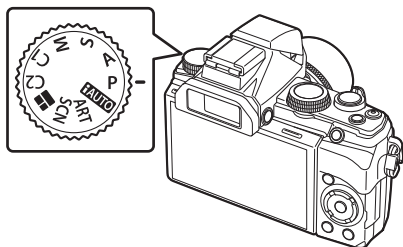
各種機能を使って撮影する

モニターに被写体を表示して撮影する

1 ON/OFFボタンを押して電源を入れる。

- 背面モニターが点灯します。

2 モードダイヤルを使用する撮影モードに合わせる。

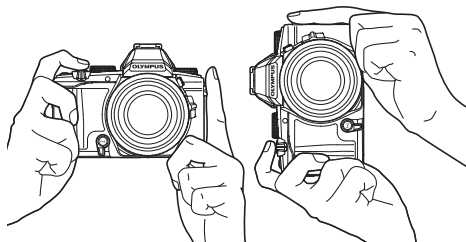


3 カメラを構えて構図を決める。

- 本機はファインダーをのぞくと自動的に背面モニターが消灯しファインダーが点灯します。表示の切替を手動切替にすることもできます。

【EVF自動切換え設定】

「* カスタムメニュー」
(P. 70)



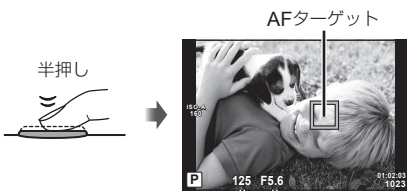
横位置

縦位置

- 表示を手動切替にした場合は、モニターボタンを押すことにファインダー表示と背面液晶表示が切替わります。

4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

- AFターゲットマークが赤く点滅したときはピントが合っていません。もう一度やり直してください。



シャッター速度 絞り値

5 カメラが揺れないよう、シャッターボタンを静かに全押しして撮影する。



タッチパネルを使って撮影する

モニターに被写体を表示して撮影する場合、シャッターボタンを押す代わりに、画面にタッチして撮影することができます。

1 カメラを構えて構図を決めたら、ピントを合わせたいところにタッチする。

- タッチした場所にピントを合わせて自動的に撮影します。



タッチ操作を無効にしたり、タッチ操作でピントを合わせる動作のみにしたりすることができます。

	タッチ操作を禁止します。
	タッチした箇所にピントを合わせます。撮影はシャッターボタンを押します。
	タッチした箇所にピントを合わせて自動的に撮影します。



4

各種機能を使って撮影する

ハイライト&シャドウコントロール

ボタン(Δ)を押して、**INFO**ボタンを押すと、シャドウコントロール、もう一度**INFO**ボタンを押すとハイライトコントロール設定状態になります。

INFOボタンを押す度、露出補正、シャドウコントロール、ハイライトコントロールの設定状態に切り換わります。



■ シャドウコントロール

画像の暗い部分のトーンを調整します。

-補正すると暗い部分をより暗く、+補正すると暗い部分を若干明るく表現ができます。

■ ハイライトコントロール

画像の明るい部分のトーンを調整します。

-補正すると明るい部分を若干暗く、+補正すると明るい部分をより明るく表現ができます。

撮影機能の設定を行う

撮影メニュー 1、2では、下記の機能を設定できます。

📷 撮影メニュー 1

カードセットアップ(P. 49)
リセット/カスタムモード登録(P. 49)
ピクチャーモード(P. 50)
画質モード(P. 52)
アスペクト比設定(P. 52)

📷 撮影メニュー 2

📷/📷 (P. 52)
手ぶれ補正(P. 52)
ブラケット撮影(P. 53)
⚡RCモード(P. 54)
先幕/後幕設定(P. 54)
📷 (P. 55)
インターバル設定(P. 55)

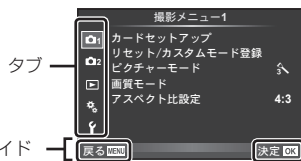
4

各種機能を使って撮影する

1 MENUボタンを押し、メニューを表示させます。

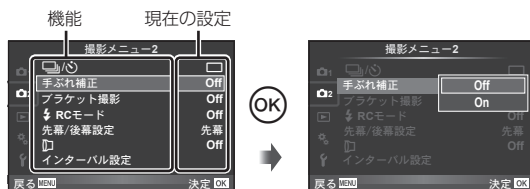
2 △▽でタブを選択し、
Ⓞボタンを押します。

3 △▽で機能を選択しⓄボタンを押して、各設定画面に進みます。



MENUボタンを押し、
押して1つ前に戻る

Ⓞボタンを押して
選択肢を決定



4 △▽で設定値を選択しⓄボタンを押して、設定内容を確定します。

- ・ 繰り返しMENUボタンを押して、メニューを終了します。


📝 メモ

- ・ 各機能の初期設定については、「メニュー一覧」(P. 104)をご覧ください。
- ・ 機能を選択すると、約2秒後にガイドが表示されます。INFOボタンを押すと、ガイドの表示/非表示を切り換えることができます。

カードセットアップ(カード初期化)

初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。

- 新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途で使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

1  撮影メニュー 1で、[カードセットアップ]を選択する。

2 [カード初期化]を選択する。



3 [実行]を選択して、 ボタンを押す。

- 初期化が実行されます。


リセット(カメラを初期値にセットする)

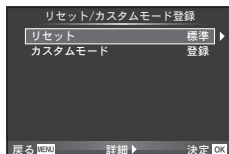
工場出荷時の設定に戻します。

1  撮影メニュー 1で、[リセット/カスタムモード登録]を選択する。

2 [リセット]を選択し、 ボタンを押す。

- [リセット]を選択してから \triangleright を押すと、リセットの種類を選べます。日付や言語など一部を除いた設定値をリセットする場合は、[フル]を選び \odot ボタンを押します。☞「メニュー一覧」(P. 104)

3 [実行]を選択し、 ボタンを押します。



カスタムモード登録(カスタムモードを設定する)

撮影設定を保存しておき、その設定を呼び出して撮影することができます。

1 カメラの設定を登録したい状態にする。

2  撮影メニュー 1で、[リセット/カスタムモード登録]を選択する。


3 [カスタム1]または[カスタム2]を選択し、 ボタンを押す。

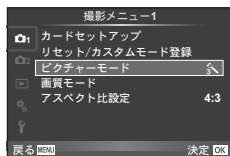
4 [登録]を選択し、 ボタンを押す。

- 登録した設定を消去するには、[クリア]を選び \odot ボタンを押します。
- [カスタムモード登録]に登録できる機能 ☞「メニュー一覧」(P. 104)

ピクチャーモード(画像の仕上がりを設定する)


















画像の色調を選択することができます。また個別に、コントラストやシャープネスなどの画像パラメータを微調整することもできます。調整したパラメータは仕上がり項目ごとに記憶されます。

- 1  撮影メニュー 1で、[ピクチャーモード]を選択する。



- 2 Δ / ∇ で項目を選択して \odot ボタンを押す。

各種機能を使って撮影する

	iFinish	撮影シーンに合った印象的な仕上がりになります。
	Vivid	色鮮やかに仕上げます。
	Natural	自然な色合いに仕上げます。
	Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
	Portrait	肌色をきれいに仕上げます。
	モノトーン	モノクロ調に仕上げます。
	ポップアート	アートフィルターの設定になります。さらにそれぞれのアートエフェクト機能が使えます。
	ファンタジックフォーカス	
	デイドリーム	
	ライトトーン	
	ラフモノクローム	
	トイフォト	
	ジオラマ	
	クロスプロセス	
	ジェントルセピア	
	ドラマチックトーン	
	リーニュクレール	

3 各項目でさらに▷を押すと、各項目のパラメータを調整できる。


		Ⓐ ~ Ⓒ	Ⓜ
コントラスト	明暗の差	○	○
シャープネス	鮮鋭さ	○	○
彩度	色の鮮やかさ	○	×
階調	画像の階調を調整します。		
オート	画像を細かい領域にわけて部分的に明るさを補正します。黒つぶれ・白とびの起きやすい明暗差の大きい画像に有効です。	○	○
標準	通常は【標準】に設定してください。		
ハイキー	明るい被写体に適した階調にします。		
ローキー	暗い被写体に適した階調にします。		
効果 (i-Finishのみ)	効果のかけ方の強弱を設定します。	○	×
フィルター効果	フィルター色と同じ色を明るく、補色を暗くした白黒画像にします。		
N:無し	通常の白黒画像になります。		
Ye:黄	自然な青空にくっきりとした白い雲が再現されます。	×	○
Or:オレンジ	青空らしさ・夕日の輝きが少し強調されます。		
R:赤	青空らしさ・紅葉の輝きがよりいっそう強調されます。		
G:緑	赤い唇・緑の葉がよりいっそう強調されます。		
調色	白黒画像に色味をつけます。		
N:無し	通常の白黒画像になります。		
S:セピア	セピア	×	○
B:青	青味		
P:紫	紫味		
G:緑	緑味		

❗ 注意

- 【標準】以外の階調ではコントラスト調整は反映されません。

画質モード(画質を選択する)

画質モードを設定します。静止画とムービーそれぞれの画質モードを設定しておくことができます。[ライブコントロール]の[画質モード] (P. 39)と同じです。

- JPEG画像の画像サイズと圧縮比の組み合わせ、[M]、[S]のピクセルサイズは変更することができます。
[画質設定]、[ピクセルサイズ]  「% カスタムメニュー」 (P. 70)

アスペクト比設定(アスペクト比を設定する)

撮影時のアスペクト比(横×縦)を変更します。撮影目的に応じた縦横比を[4:3] (基準)/[16:9] / [3:2] / [1:1]から選びます。

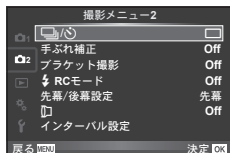
① 注意

- JPEG形式の画像は、アスペクト比に応じてトリミングされて保存されますが、RAW画像はトリミングされずに、撮影時のアスペクト比情報が付加された状態で記録されます。
- RAW画像再生時は、アスペクト比に応じた枠が表示されます。

(カスタムセルフを設定する)

カスタムセルフの詳細設定ができます。

1 撮影メニュー 2で、 を選択する。



2 (カスタム)を選択して▷ボタンを押す。

3 △▽で項目を選択して▷を押す。

- △▽で設定を選択してⓄボタンを押します。

コマ数	撮影する枚数を設定します。
セルフタイマー時間	撮影するまでの時間を設定します。
撮影間隔	2コマ目以降を撮影する間隔を設定します。


手ぶれ補正(手ぶれを抑えて撮影する)

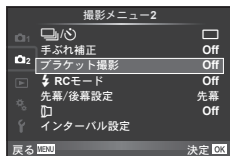
手ぶれ補正のON/OFF (ライブコントロールの手ぶれ補正と同じ)を設定できます。

ブラケット撮影(条件を少しずつ変化させて撮影する)

1コマごと、または同時に異なる設定の撮影を自動的に行う方法をブラケット撮影といいます。

メニューでは、ブラケット撮影の設定のみを行います。撮影するには、ダイレクトボタンで[BKT]に設定します。☞「ブラケット撮影(BKT)」(P. 32)

- 1  撮影メニュー 2で、[ブラケット撮影]を選択して(OK)ボタンを押す。



- 2 ブラケット撮影の種類を選択する。

- 複数のブラケット撮影を同時に使用することはできません。



AE BKT (AEブラケット撮影)

1コマごとに露出を変えて撮影するAEブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。シャッターボタンを全押し続けている間に、適正露出、-補正、+補正の順番で撮影します。P、Aモードでのみ使用できます。

撮影枚数：2枚／3枚

- 露出補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたAEブラケット撮影が行われます。



WB BKT (WBブラケット撮影)

1回の撮影で、1つの補正方向に対して色合い(ホワイトバランス)を変えた3枚の画像を自動的に作成します。カメラの設定で撮影された画像、その画像から色合いを変更した画像の順番で記録されます。P、A、S、Mモードでのみ使用できます。

- 補正する方向A-B(赤-青)、およびG-M(緑-赤紫)のそれぞれのステップを2ステップ、4ステップ、6ステップから選択します。
- ホワイトバランスの補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたWBブラケット撮影が行われます。
- WBブラケット撮影では、カードに設定枚数以上の空きがないと撮影できません。



FL BKT (FLブラケット撮影)

1コマごとにフラッシュの発光量を変えて撮影するフラッシュブラケット撮影の設定を行います。連写モードでは、シャッターボタンを全押し続けている間に、適正発光量、-発光量、+発光量の順番で3コマを撮影します。



ISO BKT (ISOブラケット撮影)

撮影時のシャッター速度と絞り値を固定したまま、1コマごとにISO感度を変えて撮影するISOブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。1回の撮影で、ISO感度を設定したISO感度(オート設定時は適正ISO) -補正、+補正の順番で3コマを撮影します。

- **[ISOオート設定]** で設定した上限値とは関係なくブラケット撮影が行われます。☞ 「% カスタムメニュー」(P. 70)



ART BKT (アートフィルターブラケット撮影)

1回の撮影でアートフィルターを施した複数の画像を残せます。使用するピクチャーモードごとにOn / Offを設定しておきます。

- 撮影後の画像の記録に時間がかかる場合があります。



RCモード(ワイヤレスRCフラッシュ撮影)

内蔵フラッシュとRCモード機能付き専用フラッシュを使ってワイヤレスフラッシュ撮影ができます。**[On]**にすると、カメラでそれぞれのフラッシュの設定が出来ます。☞ 「ワイヤレスRCフラッシュ撮影」(P. 92)

先幕/後幕設定(フラッシュ発光のタイミングを設定する)

フラッシュ発光のタイミングを設定できます。**[先幕]**にするとシャッターが開いた直後に発光し、**[後幕]**にするとシャッターが閉じる直前に発光します。**[後幕]**で撮影すると、動く被写体の後方に流れる光跡を写し込むことができます。

📷 (コンバージョンレンズを使って撮る)

別売の専用コンバージョンレンズを使って撮影します。コンバージョンレンズを取り付けて撮影するときは必ず設定してください。

Off	カメラ本体だけで撮影する。
TCON-17	テレコンバージョンレンズ(TCON-17X)を使う。コンバージョンレンズアダプタCLA-13が必要です。
WCON-08X	ワイドコンバージョンレンズ(WCON-08X)を使う。コンバージョンレンズアダプタCLA-14が必要です。ズーム領域が広角側に制限されます。また、AFイルミネータは点灯しません。

⚠️ 注意

- コンバージョンレンズの取り付けまたは取り外しの際は、必ずカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- コンバージョンレンズアダプタは、自動開閉レンズキャップを取り外してから取り付けてください。📷 「自動開閉レンズキャップについて」(P. 7)
- コンバージョンレンズを取り付けて撮影する場合、使用できる機能が一部制限されます。
 - ピント合わせに時間がかかることがあります。
 - 内蔵フラッシュの光はけられます(コンバージョンレンズの影が画面に写ります)。
 - ステップズーム(P. 73)は無効になります。

📷 インターバル設定(インターバル撮影の設定をする)

コマ数、撮影間隔などインターバル撮影の設定を行います。📷 「一定時間ごとに自動的に撮影する(インターバル撮影)」(P. 26)

1 📷 撮影メニュー 2の[インターバル設定]で以下の設定をする。

- 撮影メニューの設定方法については、「撮影機能の設定を行う」(P. 48)をご覧ください。

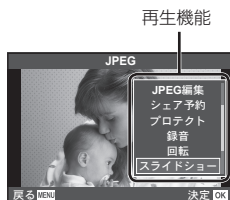
コマ数	撮影するコマ数を設定します。999コマまで設定できます。
撮影開始待ち時間	撮影開始までの待ち時間を設定します。
撮影間隔	撮影開始後の撮影の間隔を設定します。
タイムラプス動画	一連のコマの記録形式を設定します。 [Off]: それぞれのコマを静止画として記録します。 [On]: 静止画で記録すると同時に、一連のコマでひとつのムービーを生成して記録します。

- タイムラプス動画はMotion JPEG形式(1280×720ピクセル、10fps)で記録されます。

5 再生機能を使って画像を見る

再生機能を使う

再生画面でOKボタンを押すと、再生モードで使える簡単な機能のメニューが表示されます。



5

再生機能を使って画像を見る

	静止画コマ			ムービーコマ
	RAW	JPEG	RAW+JPEG	
♪再生	○	○	○	×
JPEG編集 (P. 60)	×	○	○	×
RAW編集 (P. 60)	○	×	○	×
ムービープレイ	×	×	×	○
シェア予約 (P. 16)	○	○	○	○
プロテクト (P. 16)	○	○	○	○
録音	○	○	○	×
回転	○	○	○	×
スライドショー	○	○	○	○
プリント予約 (P. 86)	×	○	○	×
1コマ消去 (P. 16)	○	○	○	○

♪再生

録音した音声を再生します。

△▽ボタンで音量の調節が出来ます。

ムービープレイ(ムービーコマを操作する)

Ⓚ	ムービーを一時停止/再開します。 • 一時停止中に以下の操作ができます。	
	◀▶またはサブダイヤル	コマ戻し/コマ送り ◀▶を押し続けると動作を続けます。
	△	先頭のフレームを表示します。
	▽	最後のフレームを表示します。
◀/▶	ムービーの早送り、巻き戻しを行います。	
△/▽	音量の調節ができます。	

❗ 注意

- パソコンでのムービー再生には付属のPC用ソフトウェアをおすすめします。はじめてソフトウェアをお使いになる際は、カメラをパソコンに接続してからソフトウェアを起動してください。

録音(音声を録音する)

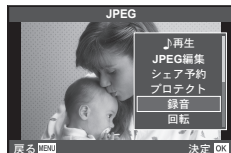
静止画に音声を録音します(最長30秒)。

1 再生画面で音声を録音する画像を表示し、Ⓚボタンを押す。

- プロテクトされた画像には録音できません。
- 音声録音は再生メニューからも設定できます。

2 [録音]を選択して、Ⓚボタンを押す。

- 録音を中止する場合は、[中止]を選択してください。



3 [録音スタート]を選択してⓀボタンを押すと、録音を開始します。

- 途中で録音を中止するときはⓀボタンを押します。
- 30秒経過すると自動で終了します。
- 音声を録音した画像には♪が表示されます。
- 録音した音声を消去する場合は、手順2で[消去]を選択してください。



スライドショーを再生する

カードに記録された画像を自動的に連続して再生します。

- 1 再生画面で \odot ボタンを押し、スライドショーを選択する。
- 2 スライドショーのBGMや効果を設定する。

スタート	スライドショーを開始します。表示している画像から、順に再生されます。
BGM	5種類のBGM、または[Off]を設定します。
効果	画像が切り換わるときの表示効果を選べます。
スライド	再生する画像の種類を設定します。
1コマ再生時間	次の画像に切り換わる間隔を2～10秒の間で設定します。
ムービー再生	ムービーを再生するときに、ムービー全編を再生する[フル]か、途中までの部分を再生する[ショート]を設定します。

- 3 [スタート]を選択して \odot ボタンを押す。
 - スライドショーが始まります。
 - \odot ボタンを押すとスライドショーが停止します。

画像を回転して再生する

撮影した画像を回転させることができます。

- 1 再生画面で画像を表示し、 \odot ボタンを押す。
- 2 [回転]を選択して、 \odot ボタンを押す。
- 3 Δ (反時計回り)、 ∇ (時計回り)を押すたびに画像が回転する。
 - \odot ボタンを押して、設定を終了します。
 - 回転表示した画像はその状態でカードに記録されます。
 - ムービーやプロテクトされている画像は回転できません。

再生メニューの機能を使う

再生メニューでは、下記の機能を使用できます。

スライドショー (P. 58)

回転再生 (P. 60)

編集 (P. 60)

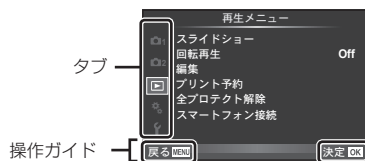
プリント予約 (P. 86)

全プロテクト解除 (P. 61)

スマートフォン接続 (P. 61)

1 MENUボタンを押し、メニューを表示させます。

2 △▽でタブを選択し、
OKボタンを押します。



MENUボタンを押し、1つ前に戻る
OKボタンを押して選択肢を決定

3 △▽で機能を選択しOKボタンを押して、各設定画面に進みます。



4 △▽で設定値を選択しOKボタンを押して、設定内容を確定します。

- ・ 繰り返しMENUボタンを押して、メニューを終了します。

メモ

- ・ 各機能の初期設定については、「メニュー一覧」(P. 104)をご覧ください。
- ・ 機能を選択すると、約2秒後にガイドが表示されます。INFOボタンを押すと、ガイドの表示/非表示を切り換えることができます。

回転再生(画像を回転して再生する)

設定が[On]のとき、縦位置で撮影した画像が自動的に回転して再生されます。

編集(画像を編集する)

撮影した画像を編集して別の画像として保存します。

- 1 再生メニューで[編集]を選び \odot ボタンを押す。
- 2 \triangleleft \triangleright で編集する画像を選択し、 \odot ボタンを押す。
- 3 [RAW編集]または[JPEG編集]を選択して \odot ボタンを押す。

- RAW画像の場合は[RAW編集]、JPEG画像の場合は[JPEG編集]が表示されます。RAW+JPEGで記録した画像は、メニューに両方が表示されますので、編集したいほうのメニューを選びます。

RAW編集	設定に合わせて編集したJPEG画像を作ります。現在のカメラの設定に応じた処理がされます。あらかじめカメラの設定をしておきます。
JPEG編集	次の編集が可能です。 [階調オート]：逆光時に暗く写った被写体を明るくします。 [赤目補正]：フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。 [トリミング]：サブダイヤルでトリミングサイズ、 \triangle ∇ \triangleleft \triangleright でトリミング位置を指定します。 [アスペクト]：アスペクト比が4:3(基準)の画像のアスペクト比を[3:2] / [16:9] / [1:1]に変更します。アスペクト比変更後、 \triangle ∇ \triangleleft \triangleright でトリミング位置を指定します。 [リサイズ]：画像サイズを1280 × 960、640 × 480、または320 × 240に変換します。 [eポートレート]：なめらかな肌に補整します。顔が検出できないなど、画像によっては補整できない場合があります。



- 4 設定を完了したら \odot ボタンを押す。

- 画像に設定が反映されます。

- 5 [実行]を選択して \odot ボタンを押す。

- 編集された画像が記録されます。

⚠ 注意

- ムービーの編集はできません。
- 画像によっては赤目補正できないことがあります。
- 次の場合はJPEG編集できません。
RAWで記録した画像/パソコンで編集した画像/カードの空き容量が不足している場合/
他のカメラで撮影した画像
- [リサイズ]では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
- [トリミング] / [アスペクト]は、アスペクト比が4:3(基準)の画像のみ編集できます。

■ 音声録音

静止画に音声を録音します(最長30秒)。
画像再生時の[録音] (P. 57)と同じ機能です。


全プロテクト解除(プロテクトされた画像を一度に解除する)

プロテクトされている画像を一度に解除できます。

1 再生メニューで[全プロテクト解除]を選択する。

2 [実行]を選択し、ボタンを押す。

スマートフォン接続(スマートフォン接続機能を使う)

本機の無線LAN機能を使ってスマートフォンと接続して画像の閲覧や転送ができます。「スマートフォンと接続する」(P. 64)

6 カメラの設定を行う

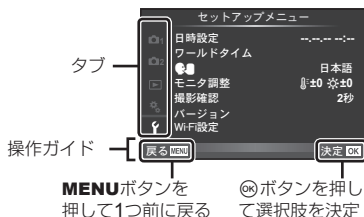
セットアップメニューの設定

セットアップメニューでは、カメラの基本的な機能を設定します。

- | | |
|-------------|---------|
| 日時設定 | 撮影確認 |
| ワールドタイム | バージョン |
| 🗨️ (言語切り換え) | Wi-Fi設定 |
| モニタ調整 | |

1 MENUボタンを押し、メニューを表示させます。

2 △▽でタブを選択し、OKボタンを押します。



3 △▽で機能を選択しOKボタンを押して、各設定画面に進みます。





4 △▽で設定値を選択しOKボタンを押して、設定内容を確定します。

- ・ 繰り返しMENUボタンを押して、メニューを終了します。

メモ

- ・ 各機能の初期設定については、「メニュー一覧」(P. 104)をご覧ください。
- ・ 機能を選択すると、約2秒後にガイドが表示されます。INFOボタンを押すと、ガイドの表示/非表示を切り換えることができます。

メニュー項目	説明	12	
日時設定	<p>日時を設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Δ/∇で[年]を選ぶ。 2) \trianglerightを押して[年]を確定する。 3) 手順1、2と同様に、Δ/∇/\triangleleft/\trianglerightで[月]、[日]、[時刻] (時、分)、[年/月/日] (日付の順序)を設定したら、\odotボタンを押す。 <ul style="list-style-type: none"> • [分]を設定中に0秒の時報に合わせて\odotボタンを押すと、正確に時刻を合わせることができます。 	12	
ワールドタイム	自宅と訪問先を設定して、日時表示を切り換えることができます。	—	
 (言語切り換え)	モニターのメニュー表示やエラーメッセージを、日本語以外の言語に設定できます。	—	
モニタ調整	<p>モニターの明るさと色温度を調整します。色温度の調整はモニター表示に適用されます。\triangleleft/\trianglerightで色温度と明るさを切り換え、Δ/∇で設定値を選びます。</p> <p>INFOボタンを押すたびにモニター表示の彩度が[Natural]と[Vivid]で切り換わります。</p>		—
撮影確認	<p>撮影後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。また、表示する時間も設定できます。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。撮影確認中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。</p> <p>[1秒] ~ [20秒]：画像を表示する時間を指定します。1秒刻みで設定することができます。</p> <p>[Off]：記録中の画像は表示されません。</p> <p>[Auto]：記録中の画像を表示し、そのまま再生モードに切り換わります。画像を確認した後、消去したいときに便利です。</p>	—	
バージョン	カメラや接続しているアクセサリのファームウェアバージョンを表示します。お問い合わせいただくときやソフトウェアをダウンロードする場合に確認できます。	—	
Wi-Fi設定	本機の無線機能を使って、無線LAN接続が可能なスマートフォンと接続するための設定をします。	64	

7 スマートフォンと接続する

本機の無線LAN機能を使ってスマートフォンと接続し、専用アプリを使用することで、撮影や撮影後の楽しみが一層広がります。

専用アプリOLYMPUS Image Share (OI.Share)を使ってできること

- カメラの写真をスマートフォンへ転送
カメラ内の画像をスマートフォンに取り込むことができます。
- スマートフォンからリモート撮影
スマートフォンでカメラをリモート操作し、撮影することができます。
- 写真をステキに加工
スマートフォンに取り込んだ画像にアートフィルターを適用したり、スタンプを追加できます。
- カメラの画像にGPSタグを追加
スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送するだけで、撮影した画像にGPSタグを追加することができます。

詳細は、下記アドレスをご参照ください。

<http://oishare.olympus-imaging.com/>

⚠ 注意

- 無線LAN機能を使用する前に「無線LAN機能について」(P. 117)をよくお読みください。
- 本機を購入した地域以外での無線LAN機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。
- 電波による通信は、傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本機の無線LAN機能を使って、自宅や公衆のアクセスポイントに接続することはできません。
- 送信用アンテナは、カメラグリップ部にあります。金属類をなるべく近づけないでください。
- 接続中は、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリーの残量が少ないと通信中でも通信が途切れる場合があります。
- 電子レンジやコードレス電話機など、磁場、静電気、電波の発生するところでは通信しにくくなったり、速度が遅くなったりします。

スマートフォンに接続する

スマートフォンと接続します。スマートフォンにインストールした専用アプリ“Ol.Share”を起動しておきます。

1 再生メニューで[スマートフォン接続]を選択してⓄボタンを押します。

- [Wi-Fi接続設定]により、以下のような動作になります。

プライベート接続の場合

毎回同じSSIDとパスワードでスマートフォンと接続できます。

初めて接続する場合のみ、モニタ画面に表示されるSSIDとパスワードをスマートフォンで設定します。

モニタ画面に表示されるQRコード表示をOl.Shareで読取って自動的に設定することもできます。

2回目以降は、SSIDとパスワードを設定しなくても接続できます。

ワンタイム接続の場合

毎回異なるSSIDとパスワードをスマートフォンで設定して接続します。

モニタ画面に表示されるQRコード表示をOl.Shareで読取って自動的に設定することもできます。

毎回確認の場合

接続方法を選択して接続を開始します。

2 接続を終了するには、カメラのMENUボタンを押すか、モニター画面の[Wi-Fi切断]にタッチします。

- Ol.Shareで接続を終了、カメラの電源オフをすることもできます。
- 接続を終了します。

スマートフォンに画像を転送する

スマートフォンでカメラ内の画像を選択して取り込むことができます。また、あらかじめシェアする画像をカメラで選択しておくこともできます。📷「画像に転送予約をつける（[シェア予約]）」(P. 16)

1 カメラの[スマートフォン接続]を開始します。

- モニター画面のWi-Fiにタッチしても接続できます。

2 Ol.Shareを起動して、写真転送ボタンをタップします。

- カメラ内の画像が一覧で表示されます。

3 転送したい写真を選択して保存ボタンをタップします。

- 保存が完了したらスマートフォンからカメラの電源をオフできます。

スマートフォンからリモート撮影する

カメラをスマートフォンから操作してリモート撮影ができます。
【プライベート接続】でのみ使用できます。

- 1 カメラの【スマートフォン接続】を開始します。
 - モニター画面の【Wi-Fi】にタッチしても接続できます。
- 2 OI.Shareを起動して、リモコンボタンをタップします。
- 3 シャッターボタンをタップして撮影します。
 - 撮影した画像はカメラ内のカードに記録されます。

❗ 注意

- 使用できる撮影機能に一部制限があります。

画像に位置情報をつける

スマートフォンで記録したGPSログをカメラに転送することで、GPSログを記録していた間に撮影した写真にGPSタグを追加できます。
【プライベート接続】でのみ使用できます。

- 1 撮影を始める前にOI.Shareを起動して位置情報付与ボタン上のスイッチをオンにして、GPSログの記録を開始します。
 - GPSログ記録開始前に、時刻を同期するためにカメラを一度OI.Shareに接続しておく必要があります。
 - GPSログ記録中は、電話や他のアプリの使用はできませんが、OI.Shareは終了させないでください。
- 2 撮影が終わったら、位置情報付与ボタン上のスイッチをオフにしてください。GPSログの記録が終了します。
- 3 カメラの【スマートフォン接続】を開始します。
 - モニター画面の【Wi-Fi】にタッチしても接続できます。
- 4 OI.Shareで記録したGPSログをカメラに転送します。
 - 転送したGPSログを元にカード内の画像にGPSタグをつけます。
 - 位置情報が付与された画像には、📍が表示されます。

❗ 注意

- 位置情報付与機能はGPS機能をもったスマートフォンでのみ使用できます。
- ムービーには位置情報は付与されません。

無線LAN接続のための設定をする(Wi-Fi設定)

本機の無線LAN機能を使うための、接続の際に使うパスワードなどの設定を変更できます。

接続方法を設定する

接続の際にいつも同じ設定を使う【プライベート接続】とその場限りの接続のための【ワнтаイム接続】があります。

- 1 設定アップメニューで【Wi-Fi設定】を選択してⓄボタンを押します。
- 2 【Wi-Fi接続設定】を選択して▷ボタンを押します。
- 3 無線LAN接続の方法を選択してⓄボタンを押します。
 - 【プライベート接続】：1台のスマートフォンと接続する(初回の接続設定以降は自動的に接続します)。Ol.Shareのすべての機能が使えます。
 - 【ワнтаイム接続】：複数台のスマートフォンと接続する(毎回異なった接続設定で接続します)。Ol.Shareの写真転送機能のみ使えます。カメラでシェア予約された画像のみ閲覧できます。
 - 【毎回確認】：毎回どちらの方法で接続するかを選択します。
 - 【Off】：Wi-Fi機能を使用しません。

プライベート接続のパスワードを変更する

【プライベート接続】で使うパスワードを変更します。

- 1 設定アップメニューで【Wi-Fi設定】を選択してⓄボタンを押します。
- 2 【プライベート接続パスワード設定】を選択して▷ボタンを押します。
- 3 操作ガイドに従って▽ボタンを押します。
 - 新しいパスワードに設定されます。

シェア予約を解除する

画像に設定されているシェア予約を解除します。

- 1 設定アップメニューで【Wi-Fi設定】を選択してⓄボタンを押します。
- 2 【全シェア予約解除】を選択して▷ボタンを押します。
- 3 【実行】を選択してⓄボタンを押します。

無線LAN設定の内容を初期化する

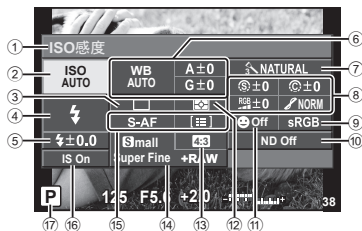
【Wi-Fi接続設定】の設定内容を初期化します。

- 1 設定アップメニューで【Wi-Fi設定】を選択してⓄボタンを押します。
- 2 【Wi-Fi設定リセット】を選択して▷ボタンを押します。
- 3 【実行】を選択してⓄボタンを押します。

8 便利に使う

スーパーコンパネを使う

撮影の設定状態と設定が一覧表示される下の画面をスーパーコンパネと呼びます。十字ボタンまたはタッチ操作で設定します。



■ スーパーコンパネの表示方法

スーパーコンパネを使うには、「* カスタムメニュー」(P. 70)の[Control表示]で、[スーパーコンパネ]にチェックを入れ、設定します。

撮影モードで \odot ボタンを押すと、ライブコントロールまたはスーパーコンパネなどの設定画面が表示され、**INFO**ボタンを押すたびに、設定画面が切り換わります。

■ 使用可能な設定機能

- | | | |
|--------------------|-------------------|-------|
| ① 現在選択している機能 | ⑨ カラー設定 | P. 76 |
| ② ISO感度 | ⑩ NDフィルター設定 | P. 44 |
| ③ 連写/セルフタイマー | ⑪ 顔優先 | P. 43 |
| ④ フラッシュモード | ⑫ 測光方式 | P. 41 |
| ⑤ フラッシュ補正値 | ⑬ アスペクト比 | P. 39 |
| ⑥ ホワイトバランス | ⑭ 画質モード | P. 39 |
| ホワイトバランス補正 | ⑮ AF方式 | P. 42 |
| ⑦ ピクチャーモード | AFターゲット | P. 32 |
| ⑧ シャープネス | ⑯ 手ぶれ補正 | P. 36 |
| コントラスト | ⑰ 撮影モード* | P. 20 |
| 彩度 | | |
| 階調 | | |
| フィルター効果 | | |
| 調色 | | |

* ART・SCNモードのみ

1 スーパーコンパネを表示して、
△▽◀▶でカーソルを設定したい機能に移動してOKボタンを押す。

- または、サブダイヤルを回して設定を選択します。
- 画面にタッチして設定したい機能を選ぶこともできます。

カーソル



2 ◀▶で設定を選択して、**INFO**ボタンを押す。

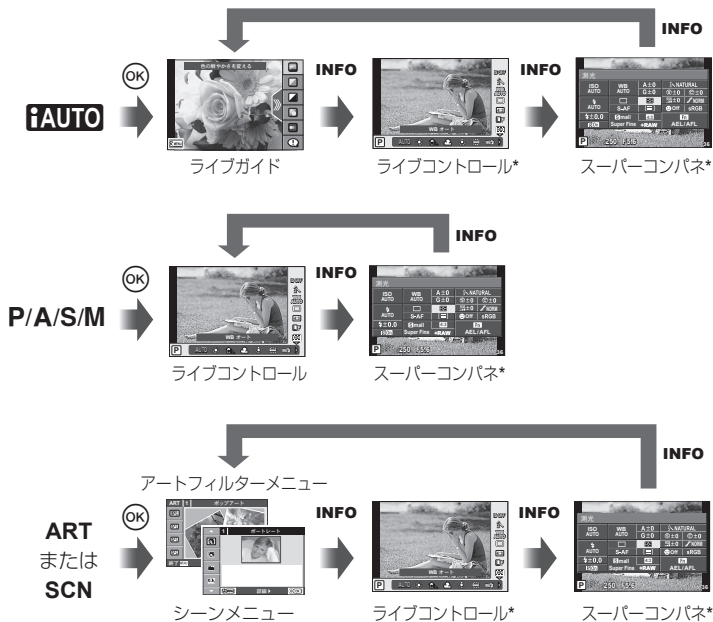
- 必要に応じて、手順1、2を繰り返します。
- 数秒間操作をしないと、その状態で設定が確定します。

3 シャッターを半押しして撮影モードに戻る。



機能設定パネルを切り換える

INFOボタンを押すたびに、カスタムメニューでの設定に応じて設定画面が切りかわります。



* [Control表示]設定により表示

9 カスタマイズして便利に使う

カスタムメニューを使って、機能の拡張やカメラのカスタマイズができます。

⚙️ カスタムメニュー

AF/MF (P. 72)	AF方式	フラッシュ (P. 75)	低速制限	
	AFターゲット選択		[AF] + [WB] 連動	
	[AF] Home登録		画質/色/WB (P. 76)	WBモード
	AFイルミネータ			全WBモード補正
	☺️顔優先			WBオート電球色残し
MFアシスト	フラッシュ+WB連動			
ボタン/ ダイヤルレバー (P. 72)	ボタン機能	カラー設定		
	ダイヤル機能	画質設定		
	🔗レバー機能	ピクセルサイズ		
	ダイヤル方向	記録 (P. 77)	ファイルネーム	
	再生ボタン起動		ファイルネーム編集	
	🔍ズーム速度		dpi設定	
接続/音 (P. 73)	ステップズーム	著作権情報		
	HDMI	動画 (P. 77)	ムービー録音	
			ビデオ出力	風切り音低減
			電子音	録音レベル調整
			再生音量	その他 (P. 78)
USB接続モード			露出基準調整	
表示 (P. 74)	[Info]/Info表示設定	水準器調整		
	表示罫線選択	タッチパネル設定		
	📷Control表示	Eye-Fi設定		
	ピクチャーモード表示	m/ft設定		
	ヒストグラム警告設定	EVF調整		
露出/測光/ISO (P. 75)	LVブースト	EVF自動切換え設定		
	スリープ時間	撮影時手ぶれ補正		
	焦点距離表示			
	測光			
	[AF] + 測光連動			
	長秒時ノイズ低減			
	高感度ノイズ低減			
ISO感度				
ISOオート設定				
Bulbリミッター				

■ 設定方法

- 1 MENU**ボタンを押し、メニューを表示させる。
- Δ / ∇ で \star カスタムメニューを選択し、**OK**ボタンを押す。
- Δ / ∇ でタブを選択して**OK**ボタンを押す。
- Δ / ∇ で機能を選択し、**OK**ボタンを押して、各設定画面に進む。
- Δ / ∇ で設定値を選択し、**OK**ボタンを押して、設定内容を確定する。
 - 各項目の詳細は次ページ以降をご参照ください。



メニュー項目	説明	
AF方式	AFの方式を選択できます。	42
AFターゲット選択	AFターゲットモードを選択します。	32
[Fn] Home登録	ホームポジションとして使うAFターゲットの位置を登録します。ホームポジションが登録中の場合、AFターゲット選択の画面で HP が表示されます。	—
AFイルミネータ	[Off]にするとAF補助光を発光しません。	—
◎顔優先	人物の顔や瞳を優先してAFします。	43
MFアシスト	[拡大] : [On]にすると、マニュアルフォーカス時に自動的に画像を拡大表示します。タッチ操作で拡大表示位置を、またサブダイヤルで拡大倍率を変更できます。 [ピーキング] : 画面内の輪郭のはっきりした箇所を強調表示します。強調表示の色は[白]または[黒]から選択できます。	—

B ボタン/ダイヤル/レバー

メニュー項目	説明	
ボタン機能	各ボタンに機能の登録ができます。	—
Fn1 ボタン機能	Off / AEL / プレビュー / ワンタッチWB / [Fn] Home / デジタルテレコン / コンバージョンレンズ / NDフィルター設定 / フレーミングアシスト	79
Fn2 ボタン機能	◎ ボタンを押してチェックを入れたり、外したりすることで機能の表示/非表示を変更できます。 撮影時に Fn2 ボタンを押すごとに以下の機能が切り換わります。 手ぶれ補正 / ピクチャーモード / SCN / ART / WB / / アスペクト / 画質モード / 画質モード / フラッシュ / フラッシュ補正 / 測光 / AF方式 / ISO / ◎顔優先 / NDフィルター設定	
◎ ボタン機能	AEL / プレビュー / ワンタッチWB / [Fn] Home / デジタルテレコン / コンバージョンレンズ / NDフィルター設定 / フレーミングアシスト / ◎REC	
▷ ボタン機能	Off / フラッシュ	
▽ ボタン機能	Off / ドライブ / セルフ	
ダイヤル機能	コントロールリングとサブダイヤルの機能を変更できます。	—
レバー機能	レバーをオンにしたときに、コントロールリングで使う機能を[MF]、[ズーム]、[MF/ズーム]の中から選択できます。	
ダイヤル方向	シャッター速度や絞り値の増減方向、カーソルの移動方向を切り換えます。	

メニュー項目	説明	🔊
再生ボタン起動	[起動する]にすると、▶ボタン長押しで電源が入り、再生モードで起動します。	—
◀ズーム速度	サイドズームレバーでズームするときの動作速度を[低速]、[標準]から選択できます。	
ステップズーム	[⊙]を[On]にするとズームレバー、[⏏]を[On]にするとサイドズームレバーの動作がステップズームに切り換わります。ステップズームにすると、ズームの焦点距離は9段階(35mm換算で28mm、35mm、50mm、70mm、85mm、100mm、135mm、200mm、300mm相当)に固定されます。	









🔊 接続/音

MENU → 🌐 → 🔊

メニュー項目	説明	🔊
HDMI	[HDMI出力]：HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選択します。 [HDMIコントロール]：[On]にするとHDMIコントロール対応テレビのリモコン操作を許可します。	82
ビデオ出力	各国のテレビ映像信号に合わせて、[NTSC]または[PAL]を選択します。日本は[NTSC]です。	82
電子音	シャッター音や操作時に鳴る電子音のOn/Offの設定ができます。	—
再生音量	再生時のスピーカーの音量を調節できます。	17, 56
USB接続モード	カメラをパソコンやプリンタに接続するときの方式を選択します。[オート]では機器に接続するたびにメニューが表示されます。	—

9

カスタマイズして便利に使う


メニュー項目	説明	📺																																								
 /Info表示設定	INFO ボタンを押したときに表示する情報画面の表示/非表示を設定します。 [Info] : 再生情報画面の設定 [LV-Info] : 撮影情報画面の設定 [表示] : インデックス表示	80																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Info</th> <th>LV-Info</th> <th>表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表示Off</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>総合表示</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ヒストグラム表示</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ハイライト&シャドウ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>水準器1</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>水準器2</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>4コマインデックス</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>9コマインデックス</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>25コマインデックス</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			 Info	LV-Info	 表示	表示Off	○	○	×	総合表示	○	×	×	ヒストグラム表示	○	○	×	ハイライト&シャドウ	○	○	×	水準器1	×	○	×	水準器2	×	○	×	4コマインデックス	×	×	○	9コマインデックス	×	×	○	25コマインデックス	×	×	○
			 Info	LV-Info	 表示																																					
	表示Off		○	○	×																																					
	総合表示		○	×	×																																					
	ヒストグラム表示		○	○	×																																					
	ハイライト&シャドウ		○	○	×																																					
	水準器1		×	○	×																																					
	水準器2		×	○	×																																					
4コマインデックス	×	×	○																																							
9コマインデックス	×	×	○																																							
25コマインデックス	×	×	○																																							
表示罫線選択	モニターに罫線を表示します。 [Off] 、 [方眼] 、 [黄金分割] 、 [目盛] 、 [対角線] の中から選択できます。	—																																								
 Control表示	操作画面の表示/非表示を、撮影モードごとに設定できます。	—																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">操作画面</th> <th colspan="4">撮影モード</th> </tr> <tr> <th>fAUTO</th> <th>P/A/S/M</th> <th>ART</th> <th>SCN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LVコントロール(P. 35)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>スーパーコンパネ(P. 68)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ライブガイド(P. 28)</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ARTメニュー</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>SCNメニュー</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		操作画面	撮影モード				fAUTO	P/A/S/M	ART	SCN	LVコントロール(P. 35)	○	○	○	○	スーパーコンパネ(P. 68)	○	○	○	○	ライブガイド(P. 28)	○	×	×	×	ARTメニュー	×	×	○	×	SCNメニュー	×	×	×	○						
	操作画面			撮影モード																																						
			fAUTO	P/A/S/M	ART	SCN																																				
	LVコントロール(P. 35)		○	○	○	○																																				
	スーパーコンパネ(P. 68)		○	○	○	○																																				
ライブガイド(P. 28)	○	×	×	×																																						
ARTメニュー	×	×	○	×																																						
SCNメニュー	×	×	×	○																																						
ピクチャーモード表示	ライブコントロールやスーパーコンパネでピクチャーモードの設定をするとき、選択したピクチャーモードだけを表示します。	36, 50																																								
ヒストグラム警告設定	[ハイライト表示] : ハイライト表示の下限値を設定します。 [シャドウ表示] : シャドウ表示の上限値を設定します。	—																																								
LVブースト	[On] にすると、モニターに露出補正などの撮影条件を反映せず、画像が見えることを優先して表示します。	—																																								
スリープ時間	設定した時間の間、カメラを操作しないと、省電力モード(スリープモード)になります。シャッターボタンの半押しで解除されます。	—																																								
焦点距離表示	撮影画面でズームレバー操作時に表示されるズーム表示(P.18)の情報を切り換えます。 [倍率] : ズーム倍率を表示します。 [焦点距離] : 焦点距離を表示します。 [35mm換算] : 焦点距離を35mm換算で表示します。	18																																								

メニュー項目	説明	📷
測光	撮影シーンに応じて測光方式を変更できます。	41
+測光連動	[On]にすると、選択したAFターゲットを中心に測光します。	—
長秒時ノイズ低減	長時間露光時に発生するノイズを低減します。 [オート]：長秒時のみノイズ低減処理を行います。 [On]：常にノイズ低減処理を行います。 [Off]：ノイズ低減処理を行いません。 <ul style="list-style-type: none"> 処理のために約2倍の撮影時間がかかります。 連写設定時は自動的に[Off]になります。 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。 	23
高感度ノイズ低減	高感度撮影時のノイズ低減レベルを選択できます。	—
ISO感度	ISO感度を設定します。	43
ISOオート設定	ISO感度を[オート]に設定したときの上限値と基準値を設定します。 [上限値]：ISO感度の上限を設定します。 [基準値]：通常使用するISO感度を設定します。	—
Bulbリミッター	バルブ撮影の最長時間を設定します。	—

フラッシュ


メニュー項目	説明	📷
低速制限	フラッシュ発光時の低速側のシャッター速度の制限値を設定できます。	—
+連動	[On]に設定すると、露出補正量に加算してフラッシュ補正が行われます。	—

メニュー項目	説明	ページ
WBモード	ホワイトバランスの設定をします。ライブコントロールの設定と同じです。それぞれの設定を微調整しておくこともできます。スーパーコンパネ(P. 68)のホワイトバランス補正からも各設定を微調整できます。	37
全WBモード補正	[All Set] : [CWB]以外のすべてのWBモードで同じ補正値を適用します。 [All Clear] : [CWB]以外のすべてのホワイトバランス補正値を0にします。	—
WBオート 電球色残し	[Off]にすると電球色の色味を残しません。	—
+WB連動	フラッシュ発光時のホワイトバランスの設定を選択できます。	—
カラー設定	撮影した画像をモニターやプリンタで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。	—
画質設定	JPEGの画質モードを変更できます。3種類の画像サイズと4種類の圧縮率の組み合わせから選択します。 	40, 103
ピクセルサイズ	画像サイズ[M], [S]のピクセルサイズを設定できます。 	40, 103

メニュー項目	説明	📄
ファイルネーム	<p>[オート]: カードを入れ換えても、ファイルNo.は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイルNo.がある場合は、最も大きなファイルNo.に続いた番号が付けられます。</p> <p>[リセット]: 新しいカードを入れると、フォルダNo.は100、ファイル名は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、最も大きなファイルNo.に続いた番号が付けられます。</p>	—
ファイルネーム編集	<p>画像につくファイル名を変更できます。以下の部分が編集できます。</p> <p>sRGB: Pmdd0000.jpg _____ Pmdd AdobeRGB: _mdd0000.jpg _____ mdd</p>	—
dpi設定	プリントするときの解像度を設定します。	—
著作権情報*	<p>最大63文字の撮影者／著作権者の名称を画像に付加します。</p> <p>[著作権情報記録]: [On]を選択すると撮影者／著作権者の名称をExif情報に付加します。</p> <p>[撮影者入力]: 撮影者の名称を入力します。</p> <p>[著作権者入力]: 著作権者の名称を入力します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1) ②の中から文字を選択し、Ⓚボタンを押します。選択した文字は①に表示されます。</p> <p>2) 手順1)を繰り返し、すべてを入力したら[END]を選択しⓀボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を消去するには、INFOボタンでカーソルを①に移動し、消去したい文字を選びます。選択後、もう一度INFOボタンで②に戻り、[Delete]を押します。 </div> 	—

* [著作権情報]の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任をもちません。お客様の責任で使用してください。

メニュー項目	説明	📄
ムービー録音	[Off]を選択すると、ムービー撮影中に音声を録音しないように設定できます。	—
風切り音低減	録音時の風による雑音を低減します。	—
録音レベル調整	マイクの感度を設定します。	—

メニュー項目	説明	📷
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。	100
露出基準調整	適正露出の基準値を測光方式ごとに調整できます。 <ul style="list-style-type: none"> 調整した方向の露出補正範囲が狭くなります。 調整量は撮影画面では確認できません。通常の露出補正を目的とする場合は、露出補正 (P. 31) を行ってください。 	—
水準器調整	水準器の角度のずれを調整できます。 [リセット] ：出荷時の調整値に戻ります。 [キャリブレーション] ：現在のカメラの状態位置を0点とします。 <ul style="list-style-type: none"> 水準器を表示するには、[📷/Info表示設定] (P.74) の[LV-Info]で水準器表示を[On]にしてから、撮影画面で水準器が表示されるまでINFOボタンを押します。 	—
タッチパネル設定	モニターに触れてカメラを操作することができます。 [Off] にするとタッチパネルの操作を禁止します。	—
Eye-Fi 設定*	Eye-Fiカードを使用するときには通信を行うかどうかを設定します。	102
m/ft設定	[AF方式] (P. 42)が [MF] のときに、モニターに表示される長さの単位を、m (メートル単位)とft (フィート単位)から選択できます。	—
EVF調整	電子ビューファインダーの明るさと色温度を調整します。色温度の調整はファインダー表示に適用されます。 <D>で☼ (色温度)と☼ (明るさ)を切り換え、△▽で [+7] ~ [-7] の範囲で調整します。 [EVF自動調光] が [On] のときは自動で明るさを調整します。 	—
EVF自動切換え設定	EVF自動切換えを行うかどうかを設定します。 [Off] にすると、ファインダーをのぞいても表示は切り換わりません。表示を切り換えるには IO ボタンを押します。 IO ボタンを長押ししても、切換えの設定メニューを表示できます。	—
撮影時手ぶれ補正	手ぶれ補正を常時行うかどうかを設定します。 [On] にすると撮影時のみ作動します。 手ぶれ補正の効果がより高くなります。	36, 52

* Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。
 飛行機の中など使用を禁止される場所では、Eye-Fiカードをカメラから取り出すか、**[Eye-Fi 設定]**を**[Off]**にしてください。
 Eye-Fiカードのアドレスモードには対応していません。

■ ボタン機能

MENU → → → [ボタン機能]


登録できる機能については、下記の表をご覧ください。ボタンによって選択できる機能は異なります。

ボタン機能項目

[Fn] ボタン機能 / [Fn2] ボタン機能 / [◎] ボタン機能 / [▷] ボタン機能 / [▽] ボタン機能

AEL	ボタンを押すと、露出が固定されます。
プレビュー	ボタンを押している間、設定された絞り値まで絞り込みます。
ワンタッチWB	ボタンを押しながら、シャッターボタンを全押しすると、ホワイトバランスの値を取得します (P. 38)。
[Home] Home	ボタンを押すと、[Home] Home登録 (P. 70) で登録したAFのホームポジションに切り換わります。ホームポジションのAFには \square マークが表示されます。再度押すと、AFターゲットモードに戻ります。ホームポジションに切り換えた状態で電源をOFFにすると、ホームポジションに切り換える前のAFターゲット位置はリセットされます。
デジタルテレコン	被写体をズームの倍率以上の大きさに拡大して記録します。中央部を切り出して記録します。被写体が約2倍の大きさになります。ボタンを押すたびにOnとOffの切り換えができます。ボタンに別の機能を割り当てると、デジタルテレコンは解除されます。
コンバージョンレンズ	装着するコンバージョンレンズを設定します。
NDフィルター設定	NDフィルターの設定をします。
フレーミングアシスト	望遠側でボタンを押すと、広角側に一定区間戻ります。長押しをすると、ボタンを離れた時に元の倍率に戻ります。
Off	ボタンに機能を割り当てません。
手ぶれ補正	手ぶれ補正の設定ができます。
ピクチャーモード	画像の仕上がりやアートフィルターの設定をします。
SCN	シーンモードを変更できます。
ART	アートフィルターを変更できます。
WB (WBモード)	ホワイトバランスの設定をします。
	連写やセルフタイマーの設定をします。
アスペクト	アスペクト比を設定します。
画質モード	静止画の画質を設定します。
画質モード	動画の画質を設定します。
フラッシュ	フラッシュの発光モードの設定をします。
フラッシュ補正	フラッシュの発光量を設定します。
測光	測光方式を設定します。
AF方式	AF方式を設定します。
ISO感度	ISO感度の設定をします。
◎顔優先	顔優先の設定をします。
◎REC	ボタンを押すと、ムービーを撮影できます。

撮影時の情報表示を切り換える


カスタムメニューの【/Info表示設定】(P. 74)で使いたい情報表示にチェックを入れておくと、撮影時に表示させることができます。撮影画面で情報表示を切り換えるには**INFO**ボタンを押します。



水準器表示

カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。

水準器の表示は目安としてお使いください。

表示に誤差がある場合は、水準器調整を行って下さい。 【水準器調整】(P. 70)

ハイライト&シャドウ表示

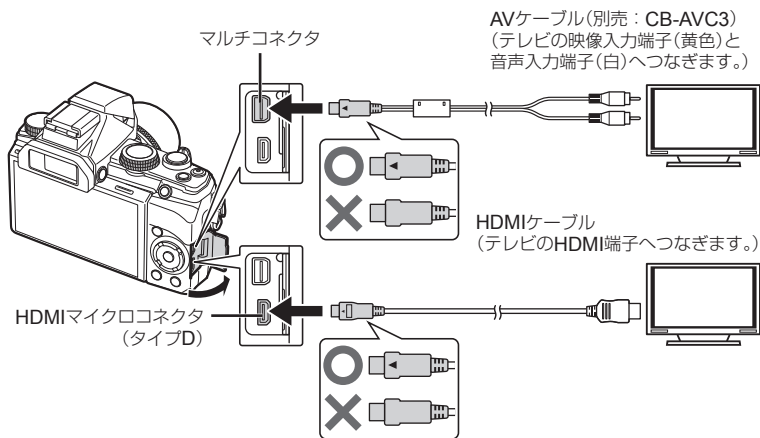
画像の明るさの上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青で表示します。

 【ヒストグラム警告設定】(P. 70)

10 他の機器と接続して使う

カメラの画像をテレビで見る

別売のAVケーブルでテレビに接続して画像を再生します。別売のHDMIケーブルを使ってハイビジョン対応のテレビに接続すると、高画質な画像をテレビで観ることができます。



1 テレビとカメラをケーブルで接続する。

- 使用するテレビは、あらかじめ入力設定をしてください。
- AVケーブルで接続する場合は、あらかじめカメラのビデオ出力を設定してください。
▶ [ビデオ出力] (P. 73)

2 テレビの入力を切り換える。

- ケーブルを接続するとカメラのモニターは消灯します。
- AVケーブルで接続した場合、▶ ボタンを押してください。

⚠ 注意

- テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見ることがあります。
- AVケーブルとHDMIケーブルの両方がカメラとテレビに接続されている場合は、HDMIが優先されます。
- HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶことができません。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

1080i優先	1080iを優先してHDMI出力します。
720p優先	720pを優先してHDMI出力します。
480p/576p	480p/576p形式でHDMI出力します。[ビデオ出力] (P. 73)が[PAL]設定時は576pで再生します。

テレビのリモコンを使う

HDMIによるコントロールに対応したテレビに接続すると、テレビのリモコンで操作することができます。

1 ❏カスタムメニューの❏タブで[HDMI]を選択する。

2 [HDMIコントロール]を選択し、[On]に設定する。

3 テレビのリモコンで操作する。

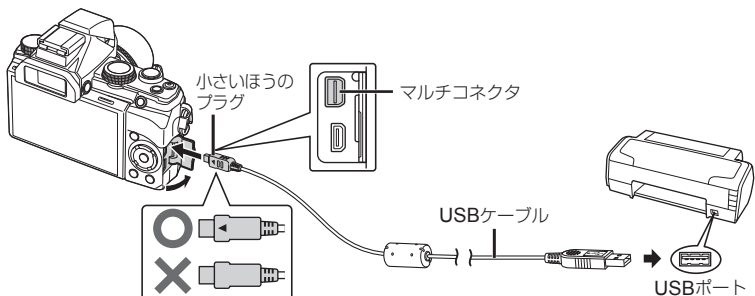
- テレビに表示された操作ガイドにしたがって操作できます。
- 1コマ再生のときに、リモコンの「赤」ボタンで情報表示の切り換え、「緑」ボタンでインデックス表示への切り換えができます。
- テレビによっては使用できない機能があります。
- HDMIケーブルの接続中は撮影できません。
- 他のHDMI出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。
- パソコンやプリンタとのUSB接続中は、HDMI出力は行われません。

画像をプリントする

ダイレクトプリント(PictBridge)

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。

接続方法




❗ 注意

- プリントを始める際は、充電した電池をご使用ください。
- RAWデータおよびムービーはプリントできません。


■ かんたんプリントでプリントする

1 <D>を押して、プリントする画像をカメラに表示する。

2 カメラとプリンタを付属のUSBケーブルで接続する。

- かんたんプリント開始の画面が表示されないときは、カスタムメニュー  のUSB接続モードを【オート】にして、再度PCIに接続してください。

3 ▷を押す。

- プリントが終わると画像選択の画面が表示されます。別の画像をプリントするときは<D>を押して画像を選択し、 ボタンを押します。
- 終了するときは、画像選択の画面が表示された状態でカメラからUSBケーブルを抜きます。



■ カスタムプリントでプリントする

1 カメラとプリンタを付属のUSBケーブルで接続し電源を入れる。

- カメラの電源を入れると、モニターに接続先を選択する画面が表示されます。画面が表示されないときは、カスタムメニューの【USB接続モード】(P. 70)を【オート】に設定してください。



2 △▽で【カスタムプリント】を選択する。

- 【USBケーブルを抜かないでください】と表示された後、プリントモード選択画面が表示されます。
- 数分待ってもプリントモード選択画面が表示されないときは、USBケーブルを抜き、手順1からやりなおしてください。

3 操作ガイドにしたがってプリントの各設定をする。

プリントモードを選択する

プリントの種類(プリントモード)を選びます。選択できるプリントモードは、以下の通りです。

プリント	選択した画像をプリントします。
全コマプリント	カードの中の全画像をプリントします。
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。
全コマインデックス	カード内の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。
予約プリント	プリント予約の内容にしたがってプリントします。あらかじめプリント予約された画像がないときは、選択できません。

用紙を設定する

この設定内容は、プリンタの対応によって選択肢が異なります。プリンタの標準設定しか使えない場合は、設定を変更することができません。

サイズ	プリンタで用意されている用紙に合わせます。
フチ	用紙いっぱいにプリントするか、フチをつけてプリントするかを選択します。
分割数	同じ画像を1枚の用紙に何枚プリントするかを選択します。プリントモードで【マルチプリント】を選択すると、この設定項目が表示されます。

プリントする画像を選ぶ

プリントする画像を選びます。選んだ画像を後でまとめてプリント(1枚予約)したり、表示している画像をプリントすることができます。



プリント(OK)	表示している画像をプリントします。[1枚予約]をした画像が1枚でもあると、予約されている画像のみプリントされます。
1枚予約(☑)	表示している画像をプリントする予約をします。[1枚予約]をしたら、<>で次に予約したい画像を選んでください。
詳細予約(☑)	表示している画像のプリント枚数や情報、プリントするかどうかを設定します。操作については「プリントする情報を設定する」をご覧ください。

プリントする情報を設定する

画像をプリントする際に、日付やファイル名の情報を同時にプリントするかどうかを設定します。

プリント枚数	プリントする枚数を設定します。
日付	画像に記録されている日付情報を同時にプリントします。
ファイル名	画像に記録されているファイル名を同時にプリントします。
トリミング	画像をトリミングしてプリントします。コントロールリングまたはサブダイヤルでトリミングサイズを、△▽<>でトリミング位置を指定します。

10

他の機器と接続して使う

4 プリントする画像や内容が決まったら、[プリント]を選択し、**OK**ボタンを押す。

- プリントを始めてから途中で停止したいときは、**OK**ボタンを押します。プリントを続行するには、**続行**を選択します。

■ プリントを中止するには

[中止]を選択して、**OK**ボタンを押します。その場合、設定した予約などはすべて失われます。予約した内容を残して、続けて予約や設定をしたいときは、**MENU**ボタンを押します。1つ前の設定に戻ります。

プリント予約(DPOF)

プリントしたい画像や枚数などをあらかじめ指定しておく、その情報がカードに保存されます。プリント予約した画像は、DPOF対応のプリントショップでプリントしたり、DPOF対応プリンタに直接接続してプリントできます。プリント予約にはカードが必要です。

■ プリント予約する

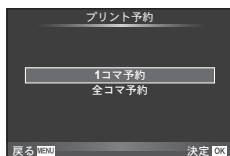
1 画像を再生中に、**OK** ボタンを押して[プリント予約]を選択する。

2 [1コマ予約]または[全コマ予約]を選択し、**OK** ボタンを押す。

1コマ予約の場合

<>を押してプリント予約したいコマを選択し、**△▽**を押してプリントする枚数を設定します。

- 複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。予約が終わったら**OK**ボタンを押します。



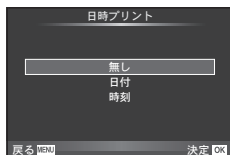
全コマ予約の場合

[全コマ予約]を選択し、**OK**ボタンを押します。

3 日時の種類を選択し、**OK** ボタンを押す。

無し	画像のみプリントされます。
日付	画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻	画像と撮影時刻がプリントされます。

- 複数の画像をプリントする場合、1コマごとに設定を変えることはできません。



4 [予約する]を選択し、**OK** ボタンを押す。

⚠ 注意

- 他の機器で予約した内容を、このカメラで変更することはできません。また、このカメラで新たに予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- RAWデータおよびムービーはプリント予約できません。

■ プリント予約を選択して解除する/すべて解除する

すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

1 画像を再生中に、**OK** ボタンを押して[プリント予約]を選択する。

2 [1コマ予約]を選択し、**OK** ボタンを押す。

- すべてのプリント予約を解除する場合は、[解除する]を選択して、**OK**ボタンを押します。そうでない場合は[解除しない]を選択して**OK**ボタンを押します。

3 **<>**を押してプリント予約を解除したいコマを選択する。

- ▽**でプリント枚数を0に設定します。すべて解除したら**OK**ボタンを押します。

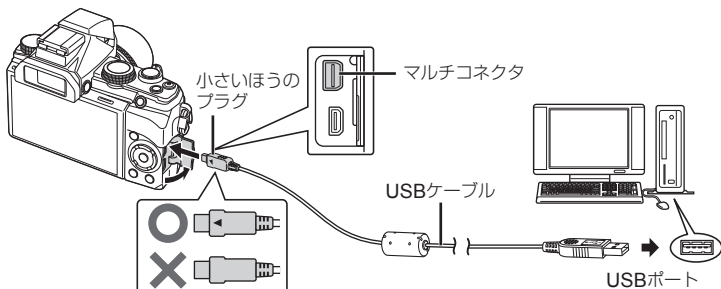
4 日時の種類を選択し、**OK** ボタンを押す。

- プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。


5 [予約する]を選択し、**OK** ボタンを押す。

カメラをパソコンに接続する

接続方法



❗ 注意

- カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。充電した電池を使用してください。
- カメラと他の機器をUSB接続すると、その機器との接続方法を選ぶ設定画面が表示されます。【ストレージ】に設定してください。
- 接続方法を選ぶ画面が表示されないときは、カスタムメニュー  (P. 70)の【USB接続モード】を【オート】にして、再度PCに接続しなおしてください。

10

ソフトウェアのインストール

■ Windows

1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを入れる。

Windows XPの場合

- 「セットアップ」画面が表示されます。
- Windows XPは、Microsoft社のサポートが終了しております。セキュリティ上問題がある場合がありますので、ご使用にあたっては自己責任にてご対応ください。

Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 の場合

- 自動起動の画面が表示されますので、「OLYMPUS Setup」をクリックしてください。「セットアップ」画面が表示されます。



⚠ 注意

- 「セットアップ」画面が表示されない場合は、スタートメニューから「マイコンピュータ」(Windows XP) / 「コンピュータ」(Windows Vista) / 「コンピューター」(Windows 7)をクリックし、次にCD-ROM (OLYMPUS Setup)のアイコンをダブルクリックして「OLYMPUS Setup」ウィンドウを開きます。最後に、「LAUNCHER.EXE」をダブルクリックしてください。
- 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

2 カメラをパソコンに接続する。

3 ユーザー登録を行う。

- 「ユーザー登録」ボタンをクリックし、画面のメッセージにしたがって操作を行ってください。

4 OLYMPUS Viewer 3のインストールを行う。

- インストールを行う前に動作環境を確認してください。
- 「OLYMPUS Viewer 3」ボタンをクリックし、画面のメッセージにしたがってインストールを行ってください。

OS	Windows XP SP3 / Windows Vista SP2 / Windows 7 SP1 / Windows 8 / Windows 8.1
CPU	Pentium4 1.3GHz 以上 (ムービーを扱う場合：Core 2 Duo 2.13GHz以上推奨)
RAM	1GB 以上(2GB 以上推奨)
HDDの空き容量	3GB 以上
モニター	1024×768 ドット以上、65,536色以上(1,677万色以上推奨)

- ソフトウェアの詳しい使い方は、ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

■ Macintosh

1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを入れる。

- CD-ROMを挿入すると自動的にFinderでドライブ内が表示されます。自動的に開かなかった場合は、デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
- 「Setup」アイコンをダブルクリックすると、「セットアップ」画面が表示されます。



2 OLYMPUS Viewer 3のインストールを行う。

- インストールを行う前に動作環境を確認してください。
- 「OLYMPUS Viewer 3」ボタンをクリックし、画面のメッセージにしたがってインストールを行ってください。



OS	Mac OS X v10.5-v10.9
CPU	Intel Core Solo / Duo 1.5GHz以上 (ムービーを扱う場合：Core 2 Duo 2.13GHz以上推奨)
RAM	1GB 以上(2GB 以上推奨)
HDDの空き容量	3GB 以上
モニター	1024×768 ドット以上、32,000色以上(1,677万色以上推奨)

- 言語を変更したい場合は、言語コンボボックスからご使用の言語を選択してください。
ソフトウェアの詳しい使い方は、ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

10

他の機器と接続して使う

OLYMPUS Viewer 3を使用せずにパソコンに 画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。付属の専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続して、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下の通りです。

Windows	Windows XP SP3 / Windows Vista SP2 / Windows 7 SP1 / Windows 8 / Windows 8.1
Macintosh	Mac OS X v10.5-v10.9

1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンを接続する。

- USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 カメラの電源を入れる。

- モニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。



3 △▽を押して[ストレージ]を選択する。Ⓞボタンを押します。

4 カメラが新しい機器としてパソコンに認識される。

❗ 注意

- Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 をお使いの場合は、手順3で[MTP]を選択することでWindows フォト ギャラリーが使用できます。
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン / 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン / 自作パソコン
- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- パソコンとカメラを接続したときに、手順2の画面が表示されない場合は、カスタムメニューの[USB接続モード] (P. 70)を[オート]に設定してください。

11 別売品を使う

アイカップを使う

大型のアイカップ(EP-11)に交換することができます。

取り外し方



専用フラッシュを使う

このカメラでは、別売の専用フラッシュを使用して目的に応じたいろいろなフラッシュ撮影が行えます。カメラとの通信機能があり、TTL-AUTOなど多彩な調光モードで、このカメラのフラッシュモードを使うことができます。当社専用フラッシュは、カメラのホットシューに取り付けて使用します。また、ブラケットケーブル(別売)を使用して専用のフラッシュブラケットに取り付けることもできます。専用フラッシュの取扱説明書も合わせてご覧ください。

専用フラッシュの機能比較

専用フラッシュ	調光モード	GN (ガイドナンバー) (ISO100時)
FL-14	TTL-AUTO, AUTO, MANUAL	GN14 (28mm*時)
FL-36R		GN36 (85mm*時) GN20 (24mm*時)
FL-50R		GN50 (85mm*時) GN28 (24mm*時)
FL-300R		GN20 (28mm*時)
FL-600R		GN36 (85mm*時) GN20 (24mm*時)

* カバーできるレンズ焦点距離(35 mmフィルムカメラ換算)

ワイヤレスRCフラッシュ撮影

RCモード機能付き専用フラッシュではワイヤレスフラッシュ撮影ができます。3つのグループのフラッシュを別々に発光制御できます。詳しくは専用フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

1 ワイヤレスRCフラッシュをRCモードに設定して、配置する。

- フラッシュの電源を入れMODEボタンを押して、RCモードにします。
- フラッシュのチャンネルとグループを設定します。

2 撮影メニュー 2 (P. 48)の[RCモード]を[On]にする。

- スーパーコンパネがRCモードに切り換わります。
- **INFO**ボタンを繰り返し押すと、スーパーコンパネの表示を切り換えることができます。
- フラッシュモードを選択します。(RCモードでは赤目軽減発光はできません。)

3 スーパーコンパネでグループごとに調光モードなどの設定をする。

グループ

- それぞれのグループごとに調光モードを選択し、発光量補正します。**MANUAL**では発光量を選択します。

カメラ側のフラッシュの動作を設定します。

発光量補正值

先幕/後幕設定

チャンネル

- 通信のためのチャンネルをフラッシュと合わせます。

調光モード

発光量

4 フラッシュスイッチを押して、内蔵フラッシュをポップアップする。

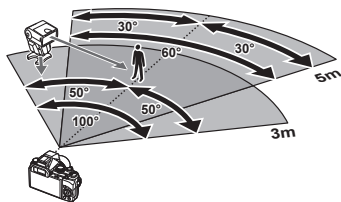
- カメラとフラッシュの充電完了を確認してから確認撮影します。

■ ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

ワイヤレスフラッシュのリモートセンサーをカメラ側に向けて設置します。次の図は設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。

① 注意

- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台を推奨します。
- 4秒を超える後幕シンクロ撮影の場合は、ワイヤレスフラッシュ撮影できません。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。(内蔵フラッシュをディフューザー等で減光すると症状が緩和されます。)



市販のフラッシュを使う

専用フラッシュ以外の市販のフラッシュをカメラのホットシューに接続して使用する場合は、次のことにご注意ください。

- カメラのホットシューのX端子に、約24V以上の電圧がかかる古いタイプの市販フラッシュを接続すると故障します。
- 弊社規格外の通信端子のあるフラッシュを接続すると故障する可能性があります。
- 撮影モードを**M**にして、ISO感度を[AUTO]以外でお使いください。
- フラッシュで調光する場合は、フラッシュにカメラのISO感度と絞り値を設定する必要があります。フラッシュによる明るさを調整するには、いずれかをシフトします。
- レンズにあった照射角のフラッシュをお使いください。通常、照射角は35mmフィルムカメラ換算の焦点距離で表します。

12 使い方のヒント

思い通りに操作できない、画面にメッセージが表示されるがどうして良いかわからないときは、以下を参考にしてください。

故障かな？と思ったら

■ 電池

「電池を入れてもカメラが動かない」

- 充電された電池を正しい向きで入れる。「電池とカードを入れる/取り出す」(P. 11)
- 寒さのため一時的に電池の性能が低下していることがあります。カメラから電池を一度取り出し、ポケットに入れるなどして少し温めます。


■ カード

「メッセージが表示される」

- 「エラーメッセージ」(P. 95)

■ シャッターボタン

「撮影できない」

- スリープモードを解除する
カメラは電源オンの状態で、何も操作しないと設定した時間でスリープモードになり、モニターは自動的に消灯します。この状態でシャッターボタンを全押ししても撮影できません。ズームレバーやその他のボタンを操作して、カメラをスリープモードから復帰させてから撮影しましょう。
さらに5分放置すると、カメラは電源オフの状態になります。ON/OFFボタンを押して電源を入れてください。
- 撮影モードにする。
-  (フラッシュ充電)アイコンの点滅が消えるのを待って撮影する。
- 長時間使用し、カメラの内部温度が上がると、自動的に動作を停止する場合があります。電池を取り出し、カメラが冷えるまで待ちます。また使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

■ モニター

「見にくい」

- 結露が起きている可能性があるので、電源を切り、カメラ全体がまわりの温度になじんで乾燥するのを待ってから撮影する。

「撮影した画像に光が写っている」

- 夜間にフラッシュを発光させて撮影すると、空気中のほこりなどに光が反射して、画像に写り込むことがあります。


■ 日時機能

「設定した日時が元に戻った」

- 電池を抜いた状態で約3日間¹⁾放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります。設定し直してください。
¹⁾ 初期設定に戻るまでの時間は、電池を入れ換えてからの時間によって異なります。「電源を入れ、初期設定をする」(P. 12)

エラーメッセージ

モニター表示	原因	対処方法
 このカードは使用できません	カードに問題があります。	もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。
 書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。(P. 102)
 撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 カード残量がありません	カードに十分な空き容量がありません。	
 画像が記録されていません	カードに記録画像がないため画像が再生できません。	カードに画像が記録されていません。撮影してから再生してください。
 この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。 それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
 この画像は編集できません	他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。	パソコンの画像ソフトなどで編集してください。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください	連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。	カメラの電源を切り、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください		しばらくすると、自動的に電源が切れます。 カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。

モニター表示	原因	対処方法
 電池残量がありません	電池残量がありません。	充電してください。
 接続されていません	カメラがパソコンまたはプリンタに正しく接続されていません。	カメラとパソコンまたはプリンタを正しく接続しなおしてください。
 用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
 インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
 紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンタの設定が変更されました	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした。	プリントの設定中にはプリンタの操作はしないでください。
 プリンタエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから電源を入れなおしてください。
 この画像はプリントできません	他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。	パソコンなどを使ってプリントしてください。

撮影のヒント

イメージした通りに写真を撮るための撮影方法がわからないときは、以下を参考にしてください。

■ ピント

「狙ったものにピントを合わせたい」

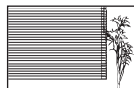
- タッチで撮影する
- 画面の中心以外にある被写体を撮る
被写体と同じ距離にあるものにピントを合わせた後、構図を決めて撮影します。
📷 「フォーカスロックを使う」(P. 42)
- 顔優先AF、瞳優先AFを使う(P. 43)
- 暗いところにある被写体を撮る
AF補助光を使うとピントが合いやすくなります。📷 [AFイルミネータ](P. 70)
- オートフォーカスが苦手な被写体を撮る
以下のときは、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりとしたものにピントを合わせた後(シャッターボタン半押し)、構図を決めて撮影します。



コントラストがはっきりしない被写体



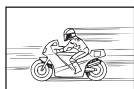
画面中央に極端に明るいものがある場合



縦線のない被写体¹



遠いものと近いものが混在する場合



動きの速いもの



被写体がAFターゲット内がない

¹ カメラを縦位置に構えてピントを合わせてから、横位置に戻して撮影するのも効果的です。

■ 手ぶれ

「ぶれない写真を撮りたい」

- [手ぶれ補正]を使って撮る
ISO感度を上げなくても撮像素子が手ぶれを補正する動きをします。高倍率ズームで撮影するときにも有効です。📷 「手ぶれ補正」(P. 36)
- SCNモードの[📷 スポーツ](P. 24)で撮る
[📷 スポーツ]を選ぶと、速いシャッター速度で撮影できるので、被写体ぶれにも有効です。
- 高いISO感度で撮る
高いISO感度を選ぶと、フラッシュを使えない場所でも速いシャッター速度で撮影できます。📷 「ISO感度」(P. 43)

■ 露出(明るさ)

「イメージ通りの明るさで撮りたい」

- [ピクチャーモード] (P. 50)の[階調]を[オート]にする
- [スポット測光] (P. 41)で撮る
画面中央の被写体に明るさをあわせて撮影するので、背景の光に影響されません。
- [強制発光] (P. 30)フラッシュで撮る
逆光でも被写体が暗くならず撮れます。
- 白い砂浜・雪景色をきれいに撮る
SCNモードの[ビーチ&スノー]で撮影します。(P. 24)
- 露出補正(P. 31)して撮る
画面を確認しながら明るさを調節して写します。通常、白い被写体(雪など)を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、プラスに補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆にマイナスに補正すると効果的です。

■ 色合い

「見た目と同じ色で撮りたい」

- [ホワイトバランス] (P. 37)を選んで撮る
通常は[WBオート]でほとんどの環境をカバーしますが、被写体の条件によっては設定を変えて試してみるほうが良いことがあります。(晴天下の日陰や、自然光と照明光が混ざってあたる時、など)

■ 画質

「きめ細かい写真を撮りたい」

- 低いISO感度で撮る
[ISO感度]を高くすると、ノイズ(本来そこにはないはずの色の小さな点や色むら)が発生し、画像が粗く見えます。「ISO感度」(P. 43)

再生・編集のヒント

■ 再生

「ハイビジョンテレビで高画質で見たい」

- HDMIケーブル(別売)でカメラとテレビをつなぐ
「カメラの画像をテレビで見る」(P. 82)

■ 編集

「静止画に録音済みの音声を消したい」

- 音声を削除したい画像を表示して、[録音]で[消去]を選択する
「録音(音声を録音する)」(P. 57)

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、または当社サービスステーションにお問い合わせください。
- 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れ

カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

- レンズブロー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

❗ 注意

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビが生えることがあります。

カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池やカードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

⚠ 注意

- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

1 ❏カスタムメニュー(P. 70)の❏タブで[ピクセルマッピング]を選択する。

2 ▷を押して、Ⓞボタンを押す。

- ピクセルマッピング実行中の[処理中]バーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。

⚠ 注意

- 誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

電池／充電器についてのご注意

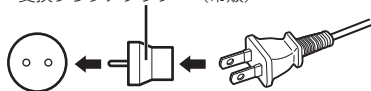
- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。当社純正の電池以外は使用できません。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - ズーム動作(操作)を繰り返す。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - パソコンやプリンタとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- ご購入の際、電池は十分に充電されていません。ご使用前に付属の充電器で充電を行ってください。
- 付属の充電器による電池の充電時間は、通常約3時間30分(目安)です。
- 付属の電池は専用の充電器以外は使用しないでください。また、付属の充電器は専用の電池以外に使用しないでください。

⚠ 注意

- 指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 使用済み電池は取扱説明書の「使用上のご注意」(P. 119)にしたがって廃棄してください。

海外での使用について

- 充電器は、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240V(50/60Hz)でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、電源コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプター(市販)が必要になる場合があります。
- イラストの変換プラグアダプター(市販) 変換プラグアダプター(市販)は一例です。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。



- 市販の海外旅行用電子式変圧器(トラベルコンバーター)は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

カードを使う

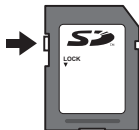
このカメラで使用できるカード

本書では、記録メディアを「カード」と呼びます。このカメラで使用できるカードは、SD規格に準拠したSD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード(市販)です。最新情報は当社ホームページをご確認ください。



SDカードの書き込み禁止スイッチについて

SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



❗ 注意

- 初期化や消去してもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。
- Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。飛行機の中など使用を禁止される場所では、カードをカメラから取り出すか、カードの機能を停止してください。🔗 **【Eye-Fi設定】** (P. 70)
- Eye-Fiカードは使用時に熱くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用すると電池の消耗が早くなることがあります。
- Eye-Fiカードを使用するとカメラの動作が遅くなることがあります。

画質モード/ファイル容量/撮影可能枚数

表内のファイルサイズは、アスペクト比4:3のときのおおよその目安です。

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル 形式	ファイル サイズ (MB)	撮影可能枚数
					SDカード ^{*1}
RAW	3968×2976	—	ORF	約 18.5	190
LSF		1/2.7		約 8.8	420
LF		1/4		約 6.1	600
LN		1/8		約 3.3	1,320
LB		1/12		約 2.3	1,960
MSF	3200×2400	1/2.7	JPEG	約 5.9	620
MF		1/4		約 4.2	1,020
MN		1/8		約 2.3	2,030
MB		1/12		約 1.7	2,970
MSF		1/2.7		約 4.0	1,080
MF	2560×1920	1/4	JPEG	約 2.8	1,580
MN		1/8		約 1.7	3,120
MB		1/12		約 1.3	4,520
MSF		1/2.7		約 2.0	1,900
MF		1/4		約 1.4	2,770
MN	1920×1440	1/8	JPEG	約 0.7	5,300
MB		1/12		約 0.5	7,620
MSF		1/2.7		約 1.4	2,710
MF		1/4		約 1.0	3,930
MN		1/8		約 0.5	7,620
MB	1600×1200	1/12	JPEG	約 0.3	10,170
MSF		1/2.7		約 0.9	4,060
SF		1/4		約 0.6	5,810
SN		1/8		約 0.3	11,090
SB		1/12		約 0.3	15,250
MSF	1024×768	1/2.7	JPEG	約 0.6	6,100
SF		1/4		約 0.4	8,710
SN		1/8		約 0.2	15,250
SB		1/12		約 0.2	20,340
MSF		640×480		1/2.7	JPEG
SF	1/4		約 0.2	20,340	
SN	1/8		約 0.1	30,510	
SB	1/12		約 0.1	40,680	

*1 SDカード4GBの場合

⚠ 注意

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもモニターに表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- モニターに表示される撮影枚数は9999までです。
- ムービーの録画可能時間については、当社ホームページをご確認ください。

メニュー一覧

*1：[カスタムモード登録]で登録可能な機能

*2：[リセット]（フル）で初期設定に戻る機能

*3：[リセット]（標準）で初期設定に戻る機能

📷1 撮影メニュー 1 / 📷2 撮影メニュー 2

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍		
📷1	カードセットアップ	全コマ消去/中止				49		
	リセット/カスタムモード登録	—				49		
	ピクチャーモード	👁️Natural	✓	✓	✓	36		
	画質モード	静止画	📺N	✓	✓	✓	39	
		ムービー	Full HD					
	アスペクト比設定	4:3	✓	✓	✓	39		
📷2	📷/📹	☐	✓	✓	✓	52		
	手ぶれ補正	On	✓	✓	✓	36		
	ブラケット撮影	AE BKT	Off	✓	✓	✓	53 - 54	
		WB BKT	A-B					Off
			G-M					
		FL BKT	Off					
		ISO BKT	Off					
	ART BKT	Off						
	🔋RCモード	Off	✓	✓	✓	54		
	先幕/後幕設定	先幕	✓	✓	✓	54		
	📷	Off	✓	✓	✓	55		
	インターバル設定	コマ数	999	✓	✓	✓	55	
		撮影開始待ち時間	00:00:01					
撮影間隔		00:00:01						
タイムラプス動画		Off						

▶ 再生メニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
▶	スライドショー	スタート	スタート				58	
		BGM	Cosmic		✓	✓		
		効果	標準		✓	✓		
		スライド	すべて		✓	✓		
		1コマ再生時間	3秒		✓	✓		
		ムービー再生	ショート		✓	✓		
		回転再生	On		✓	✓	60	
	編集	画像選択	RAW編集	—				60 - 61
			JPEG編集	—				
			録音	—				
	プリント予約	—				86		
	全プロテクト解除	—				61		
	スマートフォン接続	—				61, 64		

📁 セットアップメニュー

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3	🔍	
📁	日時設定		—				62	
	ワールドタイム		自宅・Tokyo					
	🌐		日本語					
	モニタ調整		📏 ±0, ✖ ±0, Natural		✓			
	撮影確認		2秒		✓	✓		
	バージョン		—					
	Wi-Fi設定	Wi-Fi接続設定	プライベート接続			✓		
		プライベート接続パスワード設定	—					
		全シェア予約解除	—					
		Wi-Fi設定リセット	—					
Off		—						

カスタムメニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3		
AF/MF	AF方式	静止画 S-AF	✓	✓	✓	72	
	AFターゲット選択		✓	✓	✓		
	Home登録		✓	✓	✓		
	AFイルミネータ	On	✓	✓	✓		
	◎顔優先	Off	✓	✓			
	MFアシスト	拡大	On	✓	✓		
		ピーキング	Off				
ボタン/ダイヤル/レバー							
ボタン機能	ボタン機能	デジタルテレコン	✓	✓	✓	72	
	ボタン機能	手ぶれ補正					
	◎ ボタン機能	ムービー撮影					
	▷ ボタン機能						
	▽ ボタン機能						
ダイヤル機能	P	0: Ps : 露出補正	✓	✓		72	
	A	0: 絞り : 露出補正					
	S	0: シャッター速度 : 露出補正					
	M	0: シャッター速度 : 絞り					
		0: Ps : 露出補正					
	SCN	0: モード切替 : 露出補正					
	ART	0: モード切替 : 露出補正					
	Menu	0: ◀▶ : ◀/Value					
		0: : コマ送り/戻し					
レバー機能	MF	✓	✓	✓			
ダイヤル方向	露出設定		✓	✓		73	
	MENU設定						
	MF						
	ズーム						
再生ボタン起動	起動する	✓	✓	✓			
ズーム速度	低速	✓	✓				
ステップズーム		Off	✓	✓	✓		
		Off					
接続/音							
HDMI	HDMI出力	1080i優先		✓		73	
	HDMIコントロール	Off					
ビデオ出力		—					
電子音		On					
再生音量		3	✓	✓			
USB接続モード		オート	✓	✓			

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
表示	Info 表示設定	<input checked="" type="checkbox"/> INFO <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 表示OFF <input checked="" type="checkbox"/> 総合表示 <input type="checkbox"/> ヒストグラム表示 <input type="checkbox"/> ハイライト&シャドウ 		✓	✓	✓		
		LV-Info <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ヒストグラム表示 <input type="checkbox"/> ハイライト&シャドウ <input type="checkbox"/> 水準器 1 <input type="checkbox"/> 水準器 2 <input checked="" type="checkbox"/> 表示OFF 		✓	✓			
		表示 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 		✓	✓			
	表示罫線選択		Off		✓	✓		
	Control 表示	iAUTO	<input checked="" type="checkbox"/> ライブガイド <input type="checkbox"/> LVコントロール <input type="checkbox"/> スーパーコンパネ		✓	✓		
		P/A/S/M	<input checked="" type="checkbox"/> LVコントロール <input type="checkbox"/> スーパーコンパネ		✓	✓		
		ART	<input checked="" type="checkbox"/> ARTメニュー <input type="checkbox"/> LVコントロール <input type="checkbox"/> スーパーコンパネ		✓	✓		
		SCN	<input checked="" type="checkbox"/> SCNメニュー <input type="checkbox"/> LVコントロール <input type="checkbox"/> スーパーコンパネ		✓	✓		
	ピクチャーモード表示		<input checked="" type="checkbox"/> iFinish <input checked="" type="checkbox"/> Vivid <input checked="" type="checkbox"/> Flat <input checked="" type="checkbox"/> Portrait <input checked="" type="checkbox"/> モノトーン <input checked="" type="checkbox"/> ファンタジックフォーカス <input checked="" type="checkbox"/> デイドリーム <input checked="" type="checkbox"/> ライトトーン <input checked="" type="checkbox"/> ラフモノクローム <input checked="" type="checkbox"/> トイフォト <input checked="" type="checkbox"/> ジオラマ <input checked="" type="checkbox"/> クロスプロセス <input checked="" type="checkbox"/> ジェントルセピア <input checked="" type="checkbox"/> ドラマチックトーン <input checked="" type="checkbox"/> リーニュクレール		✓	✓		
	ヒストグラム	ハイライト表示	255		✓	✓	✓	
	警告設定	シャドウ表示	0		✓	✓	✓	
	LVブースト		Off		✓	✓	✓	
	スリープ時間		1分		✓	✓	✓	
	焦点距離表示		倍率		✓	✓	✓	

74

13

資料

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	
	露出/測光/ISO					
	測光		✓	✓	✓	75
	+測光連動	Off	✓	✓	✓	
	長秒時ノイズ低減	オート	✓	✓	✓	
	高感度ノイズ低減	標準	✓	✓	✓	
	ISO感度	オート	✓	✓	✓	
	ISOオート設定	上限値: 1600 基準値: 100	✓	✓	✓	
	Bulbリミッター	15分	✓	✓	✓	
	フラッシュ					
	低速制限	1/30	✓	✓	✓	75
	+連動	Off	✓	✓	✓	
	画質/色/WB					
WBモード	オート	✓	✓	✓	76	
全WB	All Set A: ±0, G: ±0	✓	✓			
モード補正	All Clear 中止		✓			
WBオート	電球色残し On	✓	✓	✓		
+WB連動	Off	✓	✓	✓		
カラー設定	sRGB	✓	✓	✓		
画質設定	画質1: F 画質2: N 画質3: N 画質4: N	✓	✓	✓		
ピクセルサイズ	iddle 2560 × 1920 mall 1280 × 960	✓	✓	✓		
記録						
ファイルネーム	リセット		✓			77
ファイルネーム編集	sRGB Off Adobe RGB		✓			
dpi設定	350					
著作権情報	著作権情報記録 Off			✓		
著作権情報	撮影者入力 — 著作権者入力 —					
動画						
ムービー録音	On	✓	✓	✓	77	
風切り音低減	Off	✓	✓	✓		
録音レベル調整	標準	✓	✓			
その他						
ピクセルマッピング	—				78	
露出基準調整	 ±0	✓	✓			
水準器調整	リセット		✓			
タッチパネル設定	On		✓			
Eye-Fi 設定	On	✓	✓	✓		
m/ft設定 *	m					
EVF調整	EVF自動調光 On EVF調整 ±0, ±0					
EVF自動切り換え設定	On		✓			
撮影時手ぶれ補正	Off	✓	✓			

* MF時に表示

撮影モード設定可能一覧

	iAUTO	P/A/S/M	C1/C2	■	
				スタンダード	ファンフレーム
露出補正	—	✓	✓	—	—
ハイライト&シャドウ	—	✓	✓	—	—
手ぶれ補正	✓	✓	✓	✓	✓
ピクチャーモード	—	✓	✓	—	—
WBモード		✓	✓	✓	✓
ドライブ/セルフ	*1	✓	✓	—	—
アスペクト比	✓	✓	✓	—	—
画質(静止画)	✓	✓	✓	✓	✓
画質(動画)	*1	✓	✓		
フラッシュ	*1	*1	✓	✓	✓
フラッシュ補正	—	✓	✓	✓	✓
測光	—	✓	✓	—	—
AF方式	✓	✓	✓	*1	*1
ISO感度	—	*1	✓	✓	✓
顔優先	—	✓	✓	—	—
NDフィルター設定	—	✓	✓	✓	✓
ムービー録音	✓	✓	✓		
デジタルテレコン	✓	✓	✓	—	—
コンバージョンレンズ	✓	✓	✓	✓	✓

*1 設定できない機能があります。

SCN 設定可能一覧

露出補正	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ハイライト&シャドウ	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手ぶれ補正	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ピクチャーモード	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—
WBモード	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ドライブ/セルフ	*1	*1	*1	—	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1
アスペクト比	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓	✓
画質(静止画)	✓	*1	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	*1	✓	✓	✓
画質(動画)	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1
フラッシュ	*1	*1	—	*1	*1	—	*1	—	—	—	—	*1	*1
フラッシュ補正	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—
測光	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
AF方式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—
ISO感度	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—
顔優先	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	✓	✓
NDフィルター設定	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	✓	—	—	—
ムービー録音	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
デジタルテレコン	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
コンバージョンレンズ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

*1 設定できない機能があります。

ART 設定可能一覧

	ポップ アート	ファンタ ジック フォーカス	デイ ドリーム	ライト トーン	ラフモノ クローム	トイフォト
露出補正	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ハイライト&シャドウ	✓	✓	✓	✓	✓	✓
手ぶれ補正	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ピクチャーモード	—	—	—	—	—	—
WBモード	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ドライブ/セルフ	*1	*1	*1	*1	*1	*1
アスペクト比	✓	✓	✓	✓	✓	✓
画質(静止画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
画質(動画)	*1	*1	*1	*1	*1	*1
フラッシュ	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フラッシュ補正	✓	✓	✓	✓	✓	✓
測光	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF方式	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ISO感度	✓	✓	✓	✓	✓	✓
顔優先	✓	✓	✓	✓	✓	✓
NDフィルター設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ムービー録音	✓	✓	✓	✓	✓	✓
デジタルテレコン	✓	✓	✓	✓	✓	✓
コンバージョンレンズ	✓	✓	✓	✓	✓	✓

	ジオラマ	クロス プロセス	ジェントル セピア	ドラマチック トーン	リーニク ルール
露出補正	✓	✓	✓	✓	✓
ハイライト&シャドウ	✓	✓	✓	✓	✓
手ぶれ補正	✓	✓	✓	✓	✓
ピクチャーモード	—	—	—	—	—
WBモード	✓	✓	✓	✓	✓
ドライブ/セルフ	*1	*1	*1	*1	*1
アスペクト比	✓	✓	✓	✓	✓
画質(静止画)	✓	✓	✓	✓	✓
画質(動画)	*1	*1	*1	*1	*1
フラッシュ	✓	✓	✓	✓	✓
フラッシュ補正	✓	✓	✓	✓	✓
測光	✓	✓	✓	✓	✓
AF方式	✓	✓	✓	✓	✓
ISO感度	✓	✓	✓	✓	✓
顔優先	✓	✓	✓	✓	✓
NDフィルター設定	✓	✓	✓	✓	✓
ムービー録音	✓	✓	✓	✓	✓
デジタルテレコン	✓	✓	✓	✓	✓
コンバージョンレンズ	✓	✓	✓	✓	✓

*1 設定できない機能があります。

仕様

カメラ

型式	
型式	コンパクトデジタルカメラ
撮像素子	
型式	1/1.7"型 CMOS
カメラ部有効画素数	約1200万画素
アスペクト比	4:3
ファインダー	
形式	電子ビューファインダー、アイセンサー有り
画素数	144万ドット
視野率	100%
アイポイント	約18.0mm (-1m ⁻¹ 時)
モニター	
型式	3.0型TFTカラー液晶、タッチパネル
総画素数	約104万ドット(アスペクト比 3:2)
レンズ	
	オリンパスレンズ6.0 ~ 64.3mm、F2.8 (35mmフィルム換算28 ~ 300mm相当)
NDフィルター	
	3段相当
シャッター	
シャッター速度	1/2000 ~ 60秒、バルブ撮影
撮影範囲	
	0.1m ~ ∞ (W)、0.8m ~ ∞ (T) (通常) 0.05m ~ 0.6m (スーパーマクロ時)
オートフォーカス	
型式	イメージャコントラスト検出方式
測距点	最大35点
露出制御	
測光方式	TTL測光方式(イメージャ測光) ESP測光/中央重点平均測光/スポット測光/ターゲット枠連動測光
測光範囲	EV-3 ~ 17 (ESP測光/中央重点平均測光/スポット測光)
ISO感度	100 ~ 12800 (1/3ステップ)
露出補正	±3EV (1/3ステップ)
ホワイトバランス	
設定方式	オート/プリセット(6種)/カスタムWB/ワンタッチWB

13

資料

記録	
記録媒体	SD/SDHC/SDXCカード(UHS-I対応)、Eye-Fiカード
記録方式	デジタル記録、JPEG (DCF準拠)、RAWデータ
対応規格	Exif 2.3、DPOF、PRINT Image Matching III、PictBridge
静止画音声	Waveフォーマットに準拠
ムービー	MOV (MPEG-4 AVC/H.264) / AVI (Motion JPEGに準拠)
音声	PCM 48kHz
再生	
表示形式	1コマ表示 / 拡大表示 / インデックス表示
外部コネクタ	
	マルチコネクタ(USB端子/AV端子) / HDMIマイクロコネクタ(タイプD)
自動カレンダー機能	
	2000 ~ 2099年の範囲で自動修正
電源	
電池	専用リチウムイオン電池(当社製BLS-50) 1個
大きさ・質量	
大きさ	116.2 mm (幅) × 87 mm (高さ) × 56.5 mm (奥行き) (突起部を除く)
質量	約402 g (電池/カードを含む)
動作環境	
温度	0℃ ~ 40℃ (動作時) / -20℃ ~ 60℃ (保存時)
湿度	30% ~ 90% (動作時) / 10% ~ 90% (保存時)

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

HDMITM
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

リチウムイオン電池

MODEL NO.	BLS-50
形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC7.2 V
公称容量	1210 mAh
充放電回数	約500回(使用する条件により異なります。)
使用環境	温度：0℃～40℃(充電時)
大きさ	約35.5 mm(幅)×12.8 mm(高さ)×55 mm(奥行き)
質量	約46 g

リチウムイオン充電器

MODEL NO.	BCS-5
定格入力	AC100 V～240 V(50/60 Hz)
定格出力	DC8.35V、400mA
充電時間	約3時間30分(常温)
使用周囲温度	0℃～40℃(動作時) / -20℃～60℃(保存時)
大きさ	約62 mm(幅)×38 mm(高さ)×83 mm(奥行き)
質量(電源コード含まず)	約70 g

- 付属の電源コードは、本機専用のケーブルですので、他の機器に使用しないでください。
また、他の機器のケーブルを本機に使用しないでください。

外觀・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

商標について

Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
Macintosh および Apple は米国アップル社の商標または登録商標です。
SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
Eye-Fi は Eye-Fi,Inc の登録商標です。
Powered by ARCSOFT.
階調自動調整機能は、Apical Limited の特許技術を使用しています。



Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の認証マークです。



その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD "AVC VIDEO") AND/OR ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。
第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、カメラに同梱された CD-ROM または以下の URL のウェブサイトに必要な応じて準備された software notice PDF ファイル内に見出すことができます。
<http://www.olympus.co.jp/en/support/msgs/digicamera/download/notice/notice.cfm>

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。




13

資料

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

 危険

電池は誤った使い方をしない

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによる火災ややけど、けがの原因となります。

- 乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない
- 火の中に投下したり、電子レンジやホットプレート、高圧容器で加熱しない
- 電磁機器の上や傍らに置かない
- 端子を金属類で接続しない
- 電池とネックレスやヘアピン、鍵等の金属と一緒に持ち運んだり、保管しない
- 高温になる場所で使用・放置しない
直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない
- 電池の液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
- カメラから電池が取り出せなくなった場合、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。電池の外装にキズなどのダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。

充電器は誤った使い方をしない

火災・破裂・発火・発煙・発熱・感電・やけど・故障の原因となります。

充電器が、熱い、異臭や異常音がる、煙がでていいるなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。

- 充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない
- 充電器を布などで覆った状態で使用しない
- 充電器を分解・改造しない
- 充電器は指定の電源電圧で使用する

⚠ 警告

製品の取扱いについて

- 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない
引火・爆発の原因となります。
- ほこりや温気、油煙、湯気が多い場所で長時間使用したり、保管しない
火災・感電の原因となります。
- フラッシュやLED（AFイルミネータ含む）を人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない
- カメラで日光や強い光を見ない
視力障害をきたすおそれがあります。
- 幼児や子供の手の届く場所に放置しない
以下のような事故が発生するおそれがあります。
 - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
 - 電池などの小さな付属品を飲み込む。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
 - カメラの動作部でけがをする。
- フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない
- 連続発光後、発光部分に手を触れない
やけどのおそれがあります。
- 分解や改造をしない
感電・けがをするおそれがあります。
- 内部に水や異物を入れない
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 本機の温度の高い部分に長時間触れない
低温やけどのおそれがあります。このような条件下の使用が予想される場合は、あらかじめ3脚や手袋などを用意してください。
- 専用の当社製リチウムイオン電池、充電器以外は使用しない
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償されませんので、ご了承ください。
- 通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない
充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

電池の取扱いについて

- 水や海水などの液体で濡らさない

- 濡れた手で触ったり持ったりしない
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- 外装にキズや破損のある電池は使用しない、またキズを付けない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 膨れた電池を無理に機器に取り付けない
発熱、破裂、発火の原因となります。
- 落下や打撃により電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
破裂・発熱・発火の原因となります。
- 充電器や機器に接続時、無理に接続しない
プラス・マイナスを逆に接続すると、電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電子レンジや高圧容器などに入れない
急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電磁調理器の上や傍らに置かない
誤って加熱され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電中や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしない
発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない
- 液漏れや異臭、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、すぐに火気から遠ざける
火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

充電器の取扱いについて

- コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持つ
電源プラグを持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

無線 LAN 機能について

- 心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22cm以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
- 航空機内では電源を切る
運行の安全や支障をきたすおそれがあります。

注意

製品の取扱いについて

- 異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する
火災・やけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサービスセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
(電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。)
- 濡れた手でカメラを操作しない
故障・感電の原因となることがあります。
- カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する
けがや事故の原因となることがあります。
- 高温になるところに放置しない
部品の劣化・火災の原因となることがあります。

電池の取扱いについて

- 乳幼児や動物・ペットには、電池の取り扱い、運搬をさせない(舐める、口に入れる、噛む等の危険防止)

- 電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない
やけどの原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておく
液漏れ・発熱により、火災・けが・故障の原因となることがあります。
- 長期間保管する場合は、涼しいところに保管してください。
- 電池は、当社製リチウムイオン電池1個を使用します。指定の電池をお使いください。指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- 当社製リチウムイオン電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

充電器の取扱いについて

- 付属の電池は専用の充電器以外は使用しないでください。また、付属の充電器は専用の電池以外に使用しないでください。

電源コードの取扱いについて

- 付属の電源コードは、本製品専用のコードですので、他の機器に使用しないでください。また、他の機器のコードを本製品に使用しないでください。

使用上のご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
 - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 水に濡れやすい場所
 - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつかけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- カメラをご使用の際は、必ず電池/カードカバーを閉じロックをしてください。
- ファインダーの接眼レンズから内部に直接日光を当てないでください。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切ってから、電池を抜き差しして再度電源を入れてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなる場合があります。
- SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード以外は、絶対にカメラに入れない。その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
- 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
- カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外(三脚など)は取り外してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- 水につけたり水をかけたりしないでください。
- 落下したり強い力を加えないでください。
- レンズの可動部で保持しないでください。
- レンズ面に直接触れないでください。
- 電気回路接点部に直接触れないでください。
- 急激な温度変化をかけないでください。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
 - ズーム動作を繰り返す。
 - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
 - 長時間、モニターで画像を表示する。
 - プリンタとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。
- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 海外では地域によって電池の入手が困難場合があります。長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは一般社団法人JBRCホームページ(<http://www.jbrc.com>)をご覧ください。
- モニターは強く押さないでください。画面上ににじみがあり、画像が正しく再生されなくなったり、モニターが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れしないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。



Li-ion

14

安全にお使いいただくために

- モニターの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めるとき、モニターにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがってモニターは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニターは、常温に戻ると回復します。

- **本製品のモニターは、精度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニターの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

本機は、2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS/OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は、40 m 以下です。

2.4DS/OF4

本製品を購入した地域以外での無線 LAN 機能の使用については、その国の電波管理規則に違反する場合がありますので、当社では一切の責任を負えません。

機器認定について

本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されています。認証ラベルは無線設備に添付されています。次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

本製品を分解、又は改造すること
本製品の証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定省電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されていないことを確認してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

接続ケーブル、USB-AC アダプタ（USB-AC アダプタ対応機種のみ）は、必ず、当製品指定のものをお使いください。指定品以外では、VCCI 協会の技術基準を超えることが考えられます。

索引

英数・記号

P (プログラム撮影)	21
A (絞り優先撮影)	22
S (シャッター優先撮影)	22
M (マニュアル撮影)	23
C1/C2 (カスタムモード)	28
■ (フォトストーリー)	27
SCN (シーンモード)	24
ART (アートフィルター)	24
i/AUTO (iオートモード)	28
AF/MF	72
ボタン/ダイヤル/レバー	72
接続/音	73
表示	74
露出/測光/ISO	75
フラッシュ	75
画質/色/WB	76
記録	77
動画	77
その他	78
☺ (言語切り換え)	63
◎顔優先	43、72
Fn1 ボタン機能	72、79
Fn2 ボタン機能	72、79
◎ボタン機能	72、79
▷ボタン機能	72、79
▽ボタン機能	72、79
📷 Control表示	74
📷/Info表示設定	74、80
[●●]+測光連動	75
⚡低速制限	75
📷+📷連動	75
i/AUTO (iオートモード)	28
IOI (EVF)	78
AFイルミネータ	72
AFターゲット選択	32、72
AF方式	42、72
BKT	32、53
dpi設定	77

ESP測光	41
Eye-Fiカード	102
Eye-Fi 設定	78
EVF	78
HDMI	73、82
INFO	18、74、80
ISOオート設定	75
ISO感度	43、75
JPEG編集	60
LVブースト	74
m/ft設定	78
MFアシスト	72
NDフィルター設定	44、79
OLYMPUS Viewer 3	88
RAW画像	40
RAW編集	60
S-AF (シングルAF)	42
USB接続モード	73
WBモード	37、76
Wi-Fi設定	64

あ行

アートフィルター	24
アスペクト比設定	39、52
インデックス再生	15

か行

カードセットアップ(カード初期化)	49
回転	60
風切り音低減	77
画質設定	76
画質モード	39、52
カスタムプリント	85
カスタムメニュー	70
画像のプロテクト	16
カラー設定	76
かんたんプリント	84
クローズアップ再生	16
高感度ノイズ低減	75
コンバージョンレンズ(D)	7、55、79

さ行

再生音量	17、56、73
再生ボタン起動	73
再生メニュー	59
先幕/後幕設定	54
撮影確認	63
撮影メニュー 1/撮影メニュー 2	48
撮影モード	20
サマータイム	12
シーンモード	24
充電器	10、101
水準器	78、80
スーパーマクロ	42
ズーム速度	73
スポット測光	41
スマートフォン接続	61、64
スライドショー	58
スリープ時間	74
設定可能一覧	109 - 111
セットアップメニュー	62
セルフタイマー 2s	31
セルフタイマー 12s	31
セルフタイマーカスタム	31
全プロテクト解除	61
測光	41、75

た行

ダイヤル機能	72
ダイヤル方向	72
ダイレクトプリント(PictBridge)	84
タッチパネル	46
タッチパネル設定	78
単写	32
中央重点平均測光	41
長秒時ノイズ低減	23、75
著作権情報	77
手ぶれ補正	36
電子音	73

な行

日時設定	12、63
------	-------

は行

バージョン	63
ハイライト&シャドウコントロール	47
パノラマ写真	25
ピクセルサイズ	40、76
ピクセルマッピング	78、100
ピクチャーモード	36、50
ピクチャーモード表示	74
ヒストグラム	18
ビデオ出力	73
表示野線選択	74
ファイルネーム	77
フォーカスロック	42
ブラケット撮影	53
フラッシュ撮影	30
フラッシュ補正	41
プリント予約(DPOF)	86

ま行

ムービープレイ	57
ムービー録音	77
モニタ調整	63

ら行

ライブガイド	28
ライブコントロール	35
リセット/カスタムモード登録	49
レバー機能	72
連写	32
録音	57
録音レベル調整	77
露出補正	31

わ行

ワールドタイム	63
ワイヤレスRCフラッシュ撮影	54、92
ワンタッチホワイトバランス	38

発行日 2014.09.

OLYMPUS

オリンパス イメージング株式会社

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問合せ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ <http://www.olympus.co.jp/> から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）



0120-084215

携帯電話・PHSからは **042-642-7499**

FAX 042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）も、オンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様ご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」 ☎ **0120-971995**

営業時間：平日8:00～20:00 土・日・祝日9:00～18:00（指定休業日を除く）

※記載内容は変更されることがあります。